

平成 21 年度 「市長と語るう会」

～ 遠野市総合計画後期基本計画（平成 23～27 年度）に向けて～
「 全 体 報 告 書 」

～市民の皆さまからの意見・提言集～

平成 21 年 9 月
遠野市 経営企画室

町名	会場	開催日		参加者				意見・提言・質問等件数
				市民参加者	市長ほか庁議メンバー	事務局&地区センター	合計	
遠野町	あえりあ遠野 中ホール	6月30日	火	28	10	5	43	15
綾織町	地区センター 大広間	7月3日	金	31	9	5	45	15
小友町	地区センター 和室	7月2日	木	20	9	5	34	16
附馬牛町	地区センター 和室	6月26日	金	25	8	5	38	17
松崎町	総合福祉センター 和室	6月24日	水	21	9	5	35	17
土淵町	地区センター 和室	6月22日	月	25	9	5	39	11
青笹町	地区センター 和室	6月19日	金	23	9	5	37	15
上郷町	地区センター 大広間	6月25日	木	24	8	5	37	13
宮守町	文化交流施設 ベこっこホール	7月13日	月	39	9	5	53	19
合計		9日間		236	80	45	361	138

「平成21年度市長と語る会」意見・提言等の対応区分集計表

内 容	説 明	対 応 区 分	意 見 ・ 提 言 ・ 質 問 等 件 数	大綱 1 自然を愛し共生するまちづくり				大綱 2 健やかに人が輝くまちづくり			大綱 3 活力を創意で築くまちづくり			大綱 4 ふるさとの文化を育むまちづくり			大綱 5 みんなで考え支えあうまちづくり			
				1 自然と共生する環境づくり	2 快適な居住環境の形成	3 道路交通基盤の充実	4 安心安全な地域づくり	1 健康づくりの推進	2 地域福祉の充実	3 子育て支援の推進	1 農畜林業の振興	2 商工業の振興	3 観光と交流のまちづくり	1 ふるさと教育の推進	2 生涯学習の推進	3 ふるさとの文化の伝承・創造	1 住民主体のふるさとづくり	2 行財政基盤の強化	3 行政サービス向上	
着手済	・要望の趣旨に沿い具体的に着手している事項 ・県等の関係団体に要請又は協議を開始している事項 ・発言の内容が質問であり、回答済みである事項	A1 実施計画登載事業	46%	63	18	1	1		1	1		4	2		3		5			
		A2 経常経費対応事業			11	1	2	2			1	3	1	1						
		A3 予算を伴わない事業			34	5	1		2	2	1	1	9		1	3			2	1
今後の方針とする	・後期基本計画への登載について検討すべき事項 ・要望の趣旨に沿うことで方針が決定している事項 ・計画の策定に着手している事項	B1 後期基本計画への登載検討事業	32%	44	27	2		3	2	1	1	2	12	1	2	1				
		B2 経常経費対応事業			7			1	1				3		1	1				
		B3 予算を伴わない事業			10							3	4	1					1	
要検討事項とする	・現状は認識するが、検討を要する事項	C1 実施の際には後期基本計画に登載すべき事業	13%	18	4		1	2											1	
		C2 実施の際には経常経費で対応すべき事業			7				1			1	1	1		2				1
		C3 予算を伴わない事業			7		1		1			2		1				1		
現状で良とされたい事項	・現在の対応でご理解をいただきたい事項	D	7%	10	10	3	2		1	1								2	1	
対応の不要なもの	・発言の内容が意見・提言と捉えられないもの	E	2%	3	3									3						
計			100%	138	12	7	9	8	5	3	7	38	6	7	11	2	6	3	3	11
				36				15			51			19			17			

「平成21年度市長と語ろう会」発言・提言等の内容別件数

大綱1（自然を愛し共生するまちづくり）(36件)

(1) 自然と共生する環境づくり(12件)

- ・ ごみ処理の有料化を心配する発言(2件)
- ・ 草刈後の草の処理に関する発言(2件)
- ・ 不法投棄環境パトロールボランティアに関する発言(1件)
- ・ 中部ごみ処理施設の進捗状況と清養園のその後の活用に関する発言(2件)
- ・ 猿ヶ石川の自然保護に関する発言(1件)
- ・ 太陽光発電、風力発電等クリーンエネルギー促進への取組みに関する発言(4件)

(2) 快適な住環境の形成(7件)

- ・ 街路樹、公園の樹木、廃屋の撤去等、居住環境の整備に関する発言(5件)
- ・ 水道施設整備に関する発言(2件)

(3) 道路交通基盤の整備(9件)

- ・ 道路改良整備の要望及び進捗状況など説明責任に関する発言(9件)

(4) 安心安全な地域づくり(8件)

- ・ 防災行政無線の難聴に関する発言(1件)
- ・ 地上波デジタル放送に関する質問及びケーブルテレビに関する発言(2件)
- ・ 防災施設整備に関する発言(3件)
- ・ 街路灯に関する発言(2件)

大綱2（健やかに人が輝くまちづくり）(15件)

(1) 健康づくりの推進(5件)

- ・ 健康診断の受診率向上策、健診会場の設定に関する発言(2件)
- ・ 産婦人科医、小児科医の確保等、医療対策に関する発言(2件)
- ・ スポーツ施設の充実と指導者養成強化に関する発言(1件)

(2) 地域福祉の充実(3件)

- ・ 老人福祉政策に関する発言(3件)

(3) 子育て支援の推進(7件)

- ・ 雇用環境や公園の整備充実、障がい児への配慮等、子育て環境に関する発言(7件)

大綱3（活力を創意で築くまちづくり）(51件)

(1) 農畜林業の振興(38件)

- ・ 遊休農地の活用策に関する発言(4件)
- ・ 公共牧野の活用、乗用場生産等に関する発言(4件)
- ・ アストのこれまでの取組み実績に関する質問と不満、期待に関する発言(8件)
- ・ 複雑な農政補助制度への不満及び説明不足に対する不満等の発言(4件)
- ・ 水稲作付け品目に関する発言(1件)
- ・ しいたけ振興に関する発言(1件)
- ・ わさび振興に関する発言(1件)
- ・ 若手農業の担い手の育成に関する発言(1件)

- ・ 鹿、熊等、鳥獣対策の強化に関する発言(3件)
 - ・ 養豚団地の糞尿処理に関する発言(2件)
 - ・ 土地改良区の合併に関する発言(1件)
 - ・ 農産物加工所開設に期待する発言(1件)
 - ・ 産直建設への期待に関する発言(1件)
 - ・ 里山の除間伐等林業振興に関する発言(6件)
- (2) 商工業の振興(6件)**
- ・ 失業者の雇用対策及び新卒者の求人の確保に対する発言(3件)
 - ・ 産業振興、商業振興に関する発言(3件)
- (3) 観光と交流のまちづくり(7件)**
- ・ 観光施設の整備についての発言(3件)
 - ・ 遠野まつりのあり方に関する発言(1件)
 - ・ 農村交流等に関する発言(3件)

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり(19件)

(1) ふるさとの教育の推進(11件)

- ・ 遠野食育センター整備に関する発言(2件)
- ・ 中学校再編に関しての発言(5件)
- ・ 学校の環境整備に関する発言(2件)
- ・ 遠野高校定数の削減の恐れに関しての発言(2件)

(2) 生涯学習の推進(2件)

- ・ 宮守ホールの利用促進策に関する発言(1件)
- ・ 放課後子ども教室の充実に関する発言(1件)

(3) ふるさとの文化の伝承・創造(6件)

- ・ 遠野遺産に関する発言(6件)

大綱5 みんなで考え支えあうまちづくり(17件)

(1) 住民主体のふるさとづくり(3件)

- ・ 市民協働の事業申請の簡素化に関する発言(2件)
- ・ 河川管理に関する発言(1件)

(2) 行財政基盤の強化(3件)

- ・ 市職員の定数及び給与等に関する発言(2件)
- ・ 納税組合の組織強化に関する発言(1件)

(3) 行政サービスの向上(11件)

- ・ コミュニティー消防センター等、公共施設の利活用等に関する発言(6件)
- ・ 情報ビジネス校の跡地利用に関する発言(1件)
- ・ 振興局再編に関する発言(2件)
- ・ 庁舎案内の充実に関する発言(1件)
- ・ 農協支所の閉鎖に伴う郵便局窓口の充実に関する発言(1件)

(以上138件)

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
1	1-1	土淵町	6月22日	53歳 男性	燃えるごみを有料化している自治体もあるが、遠野市も将来的には有料化を考えているのか。	ごみの有料化については、慎重に考えたい。環境課では、昨年、一昨年かけて、全行政区に入り「ごみの減量化」について協力を求めた。有料化の前に、ごみを出さない、減量化への取り組みが優先であると考えている。	(環境整備部長) 市民一人のごみ排出量は年間 300kg、1日約 830gで前年度比で4～5%の減量化となっていて、ごみの減量化運動は、確実に成果に結びついている。 このことを踏まえ、ごみの有料化については、考えていない。	環境課	市長・部長コメントに同じ	A3	ごみ
2	1-1	宮守町	7月13日	66歳 男性	ごみ処理について、新聞報道で一部の市町村で有料化されていると聞く。ごみの回収は、現行制度のままでお願いしたい。	北上市は、有料化によってごみ処理量が減少したという。ごみ処理量は、総合計画の指標に位置付け評価しており、遠野市のごみ処理量は確実に減ってきている。有料化の前に、ごみを減らす取組を進めたいと考えており、有料化の考えはない。 ごみの減量にご協力をお願いします。		環境課	市長コメントに同じ	A3	ごみ
3	1-1	附馬牛町	6月26日	39歳 男性	小学校や保育園で草刈りをしているが、草処分に困っている。今は保育園の片隅を借りているが何とかならないか。	地区センター所長が現地確認した上で、我々も草の処理については考えていく。		環境課	関係する施設の職員が対応しますので、地区の皆さんのご協力をお願いします。	A3	ごみ
4	1-1	附馬牛町	6月26日	36歳 女性	昔は小学校で刈った草も堆肥として畑に持って行ったが、現在は畑と言える状態ではなくなっている。昔はリサイクルできていたが、畑がないのでたまる一方。		(農業活性化本部長) 私も畑の片隅に置いたり、乾燥させて火をつけて処理したり、牛がいる時は牛にやっていた。皆さん悩んでいると思われる。	環境課	関係する施設の職員が対応しますので、地区の皆さんのご協力をお願いします。	A3	ごみ
5	1-1	上郷町	6月25日	63歳 男性	不法投棄に対して、ボランティアなどによる環境パトロール隊を組織・認定して、巡回させてもらえないだろうか。	大事なことだと感じている。場合によっては暴力団などが絡むケースもあるかもしれない。市としても、ボランティアの人たちに善意でやってもらうだけではなく、遠野ならではの環境を守る取り組みを考えていかなければならない。その仕組みを考えていかなければならない。		環境課	ごみの不法投棄は、地域の景観を損なうだけでなく、自然環境の破滅にもつながるので、絶対に許すことができない行為です。 市では、遠野市森林監視員を各区域に11名配置し、職務の中で不法投棄の監視をお願いしています。また、遠野市公衆衛生組合連合会と連携を図りながら不法投棄の監視にも努めているところですが、一層強化に努めます。 なお、不法投棄は監視員等のみの巡視では防ぐことが難しいことから、地域においても注意や監視をしていただき、発見した場合は連絡をお願い致します。	A2	ごみ
6	1-1	綾織町	7月3日	61歳 女性	可燃物処理場が数年後無くなると聞いた。余熱の湯だけでも存続できないか。清養園、綾織新田遺跡、風の丘を含めた綾織を一体的にとらえ、修学旅行など、ビジネスチャンスになるとも思う。その意味でも余熱の湯は残してほしい。	旧和賀町に遠野、花巻、北上、西和賀の3市1町のゴミ焼却プラントを計画中だが、地権者問題で暗礁に乗り上げており先送りになりそう。 余熱の湯周辺にはスケートリンクも有り、また風の丘のお客様が利用するなど、利用率も高い。何とかしたい。	(環境整備部長) 可燃物処理場はH26年を目途に稼働を止めるつもりですが、温泉は継続させるように検討する。	環境課	部長コメントに同じ	B1	処理施設
7	1-1	上郷町	6月25日	70歳 男性	中部広域ごみ処理施設は、その後どうなっているのか。		(環境整備部長) 平成26年度の供用開始を目標に、花巻、北上、遠野、西和賀で負担した130億円の事業費で、ごみ処理施設の整備を進めている。現在の清養園は中継基地として使用する予定だが、ごみ処理施設までごみを運ぶためのコストが高く、引き続きごみの減量化について市民の協力を求めていく。	環境課	部長コメントに同じ	A1	処理施設

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
8	1-1	綾織町	7月3日	68歳 男性	昔に比べれば魚があまり捕れなくなっており、アユ釣りの数が少なくなった。猿ヶ石川を昔のような川に戻す河川造りの考えがあるか。	現在、田瀬ダムに魚道をつくり、遠野の早池峰の麓にサケを遡上させるプロジェクトに取り組みたいと思っている。国交省の河川局が興味を示してくれている。調査の結果、過去に遡上していることが確認された。田瀬ダムができる前は遡上していたという文献もある。田瀬ダムやレイクリゾートと一緒に進めていくことを考えている。		高規格道対策室	一級河川猿ヶ石川の洪水対策として広域基幹河川改修事業・河川災害関連事業を、ほ場整備事業と併せて実施しています。事業期間が長期にわたり、川底に砂が堆積するなど、川の生態系にも著しい影響が及んでいます。このため、これまでも岩手県に対して堆積砂の撤去や置き石などにより、自然再生に向けた良好な河川環境の整備と保全を図るよう要望を行っていますが、さらに強力に要望活動を進めていきます。	A3	自然
9	1-1	土淵町	6月22日	71歳 男性	沢水などを利用した農業用の小型水力発電などの整備など考えてみてはどうか。	アイデアとしては非常におもしろい。		経営企画室	クリーンエネルギーの導入については、現在、風の丘の風力発電のリニューアル、めがね橋ソーラーライトアップ、遠野北小・綾織小のソーラー発電システムなどに取り組んでいます。また、市庁舎を始めとした公共施設のチップボイラー化などについても検討中です。沢水などの利用による小型水力発電については現在のところ考えていませんが、貴重な意見として受け止めておきます。	D	エネルギー
10	1-1	上郷町	6月25日	65歳 男性	国では太陽光発電の整備に補助金を出して二酸化炭素の削減に取り組んでいるが、遠野市では貞任牧場にあるような風力発電を市民協働で整備し、二酸化炭素の削減に取り組んではどうか。 福井県に事例があるようだが、市民から出資してもらい、風力発電施設を整備し、作られた電力を売って利益を出資者に還元しているようだ。同じような仕組みができないものか。		(環境整備部長) 貞任は1基1億円、風の丘は1基2000万円の整備費を要するもの。できるかどうかについては、持ち帰って検討してみます。	環境課	太陽光発電や風力発電などのエネルギーは、環境に優しくかつ影響が少ないエネルギーとして有効活用が期待されています。市民風力発電は北海道で日本初市民風車として誕生し、現在全国で11基の整備が進んでいます。風を資源に、未来の環境と地域経済という二つの利益を地域に還元していく視点に立った、市民出資による風力発電事業のモデルとして事業化したものです。 現時点では、多額の費用がかかることや立地条件の分析検討が必要なことから、市民協働による風力発電施設整備の計画は、慎重に対応したいと思います。	D	エネルギー
11	1-1	土淵町	6月22日	71歳 男性	二酸化炭素問題が、世界的な問題として騒がれている。家庭用太陽光発電の整備に対して国では補助しているが、市としてはどう考えているのか。	北欧の方では木質系バイオマスの普及が進んでいるが、日本とは違い平坦な山が多いから大型機械で効率的な作業ができるが、日本はコストがかかる。 国では、今度の景気対策事業も含めて林業に関しては、かなり厚く予算配分されている。 市としては、路網整備による除間伐経費の軽減等に取り組んでいる。	(環境整備部長) 各家庭への補助は、国、県の補助に期待するところです。 学校関係についてはエコスクール(太陽光発電などを取り入れた環境に優しい学校施設)を考えていくこととしています。学校は改築に合わせて2カ所、25kwの発電設備を検討しています。	環境課	市長・部長コメントに同じ	D	エネルギー
12	1-1	附馬牛町	6月26日	39歳 男性	私は木の皮などをリサイクル燃料としている。遠野は80%が森林。この豊富な森林面積を活かし、クリーンエネルギー事業に取り組んでみてはどうか。	木質エネルギーについては今後の課題になってくる。市では青笹で木質ペレットストーブなども使用している。木質エネルギーの活用について積極的に取り組んでいきたいと考えている。		環境課	木質エネルギーの活用は、地球温暖化防止のうえでも重要な役割を果たすものと認識しています。現在、綾織小学校、森林総合センター、市役所庁舎等のチップボイラー暖房について検討中です。今後とも、森林資源の活用については積極的に取り組んでいきます。	B1	エネルギー
13	1-2	遠野町	6月30日	71歳 男性	穀町の街路樹が2～3本枯れているところがある。「同じ樹種を植えてほしい」と都市計画課にお願いしたが、「自治会で対応して」と言われた。景観上から考えても同じ樹種で植えた方がいい。市で対応していただけないものか。		(環境整備部長) 街路樹については、道路の関係であるので建設課で管理をし、点検等を実施しているところです。市民協働的な取り組みの中で、原材料等で支給し、地域の皆さんに植えて頂く方法もあります。ご協力をお願いしたいと思います。	建設課	部長コメントに同じ。	A2	居住環境

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
14	1-2 遠野町	6月30日	77歳	女性	現在、材木町に風呂屋が1軒しか無くなった。この1軒も無くなった場合、どうするのか。模擬議会でもこの件を提案したが、市からは現状維持という回答であった。	桜馬場の県の公舎を学生寮に改築したときに、議会からも「昼間は風呂を一般の人に開放してもいいのではないか」という発言があった。公衆浴場のあり方も考えていかなければならないことなのかもしれない。続けてもらうように少し助成するとかあっていいかもしれない。 やっぱり町場に銭湯は必要だと思っている。また、水光園など市民のお風呂としてどう活用するかも考えなければならないと思っている。	(経営企画室長) 以前に市内の福祉施設にある浴場を公衆浴場に活用できないかと投げ掛けたことがある。しかし、不特定多数が利用するとすると公衆浴場としての基準がかなり厳しくなるとのことでした。	環境課	以前は市内の銭湯は市街地に5カ所、上郷町に1カ所の計6カ所ありました。現在は1カ所のみでの営業となっています。減った要因は利用客の減少及び後継者難と伺っています。現在営業している銭湯は、毎週月曜日が定休日14:30~20:00まで営業し利用客は常連客が主であるとのこと。経営者に今後の意向を伺ったところ、当面は現状のとおり営業していただけることでしたので、無くなった場合の対応について即答できませんが、市としては、利用者の状況等を勘案し検討しなければならないと認識しています。 なお、市内には清養園クリーンセンター内の「よねつの湯」及び「たかむろ水光園」の施設もありますので、それらの施設の活用も含め検討していきたいと思っております。	D	居住環境
15	1-2 遠野町	6月30日	65歳	男性	毎年桜の寄附をもらっているようだが、野球場の国道からの入口付近は枯れたままの状態。手入れがなされず見苦しい状態で、毛虫もかなり付いている。処理をしてほしい。			地域生活課	遠野運動公園正面入り口の沿道に植栽されている桜の木を確認しましたところ、3本が枯死しており、景観上好ましくないことから伐採処理をします。 なお、伐採処理した後への植栽については、枯死した原因を究明しながら、樹種を含めて植栽を検討します。	A3	居住環境
16	1-2 遠野町	6月30日	65歳	男性	市民センター前の松の木。何とか処理してもらいたい。	以前からご指摘いただいているし、先日の議会でもやりとりがあった。 税金でかなりの費用を掛けてきたわけだから、何とか生かしたいと取り組むのだけでも、限界があるのかもしれない。もう少し皆さまの意見を聞きながら取り組んでいきたいと思う。 森林組合とか造園業者と仕組み作って、取り組むこともどうなのか。	(教育長) 市民センターの方でも、栄養剤を注入したり、樹木医に診断してもらったりしてもらいながら、何とか生かしたいと努力をしてくれているが、なかなか思うように元気を取り戻していない。800万円ほど経費を掛けて移転した経緯もあることから、はっきりと切ることに躊躇があるところだが、専門家にも相談しながら、早い時期に結論を出したいと思う。	地域生活課	5月29日に樹木医に診断してもらったところ、「マツモグリカイガラ虫の寄生」と「はがれ病」の疑いがあると報告を受けました。その治療方法として、枯枝の剪定、薬剤散布による害虫駆除、土壌改良が必要とのことでした。この診断結果を受け、枯枝部分については7月17日、18日に剪定しました。土壌改良や薬剤散布については、12月まで実施し、治療していきます。	A2	居住環境
17	1-2 遠野町	6月30日	65歳	男性	池端長屋は廃屋になっている。5月の強風で市外から来た車に被害が出た。どのような対策を考えているのか。	指摘のあった所以外にも、市内には廃屋があり「遠野のイメージを崩している」という苦情もある。地域の方々のボランティアで片付けてくれた例もある。 指摘の物件は事故があっただけで大変だということで、建設課が緊急避難的に対応したが、中心市街地活性化の中で、所有権という問題もあるが、空き家や廃屋といったものに行政がどのような形で入っていけるのか、踏み込んだ対応を検討したい。廃屋や空き店舗の活用を単に駐車場にするのではなく、公園のようなスポット的な場の活用策も1つの方法として考えたい。		建設課	市長コメントに同じ	C3	居住環境
18	1-2 松崎町	6月24日	64歳	男性	水道について、旧遠野市は13ミリ、旧宮守村は20ミリであったが、合併した事により旧宮守に合わせて遠野市は20ミリが基本料金となった。13ミリから20ミリへの工事をする場合、何らかの補助をしてもらえないか。例えば部品の供給であったり、何m以上からは補助対象になるなど。またその工事をするのが、雇用の場の確保にもつながると思う。			水道事務所	基本料金も加入金も13ミリと20ミリは同額になりましたので、例えばリフォームの際に20ミリに変更しても新たに加入金を納めることはありませんし、使用水量が同じであれば水道料金も変わりません。宅内の水道管設備は所有者の責任で管理する個人財産ですから、水使用が快適になるかどうか指定給水工事業者に相談のうえ規格変更工事を行うことをお奨めします。 なお、その際の設定工事への補助は、考えておりませんのでご理解をお願いします。	D	水道

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
19	1-2	土淵町	6月22日	54歳 男性	水道の普及率は現在どのくらいか。自分たちの地区（西内地区24世帯）は市水道の本管がきていないので、自分たちで整備した。 昨年までの地震の影響で、貯水タンクが壊れてしまい、次にまた大きな地震が発生すると取水することができなくなるのではないかと心配している。 最近では鹿などの影響もあり、水質汚染などの新たな問題もあり、大きな不安を抱えている。	市内の水道の普及率は90.2%。整備が困難な地域、例えば小友の外山地区では、浄水設備に対して助成制度を設けたが、全世帯の半分程度しか普及しなかった。 来内地区でも以前までは「いい水が出るから要らない」というていたが、最近では要らないといわなくなった。 地域事情を考慮しながらの対応をする。	(環境整備部長) このことについては、担当課に詳細に伝えます。	水道事務所	地区に入り、現行制度などを説明し、地域関係者と協議します。	C1	水道
20	1-3	附馬牛町	6月26日	71歳 男性	大出・大野平間の道路の幅がせまく、カーブがきついため事故等が心配される。道路拡張を願う。		(施設整備担当部長) 現地確認をして、早期に対応策を考えたい。	建設課	地元区長から6月24日に協議があり、関係課と現地確認を行った結果、年内をめどに完成する予定にしています。	A2	道路整備
21	1-3	綾織町	7月3日	73歳 男性	綾織町みさ崎地区蓬田線について、6、7年前に直してほしいと要望したが改善されていない。どのように考えているのか。		(環境整備部長) 生活に身近な道づくり第2期計画がH20～22年度であり、これから第3期計画を組み立てようとするところです。現地調査を踏まえて対応していきたい。	建設課	部長コメントに同じ。	B1	道路整備
22	1-3	松崎町	6月24日	65歳 男性	昨年度建設課に3カ所の道路改修願いをしたが、まだなされていない。2回建設課に行ったが、1回目は回答がなく、2回目は予算がないので難しいと言われた。財政的に厳しいのは分かっているが、1カ所でも直してもらえないか。うやむやな回答をせず対応できるか否か、ある程度はっきりした対応してほしい。市と行政と市民が同じレベルで話合う必要があると思う。	しっかり対応していく。	(施設整備担当部長) 担当者が相談されたことを忘れていたり、相談されたことをしっかりフォローできていない部分があった。内部でしっかり話し合っ対応する。	建設課	要望された箇所全てを直ちに補修できないのが現状ですが、現場を確認しながら対応策や見直しについて、関係者と協議や説明を十分に果たしながら進めていきます。	B2	道路整備
23	1-3	附馬牛町	6月26日	65歳 男性	有事の際、集落が孤立することのないようライフライン確保のため、矢崎・安居台線の市道を整備してほしい。現状では大型車が通れる状況にない。	矢崎・安居台線は私も現地視察をした。半世紀以上の課題となっている箇所である。土淵・達曾部線があり、災害時には非常に大事な道路であると認識している。	(施設整備担当部長) 過去にも土砂崩れがあった箇所。整備は進めているものの追いついていない状況は認識している。現地確認をして整備方法も含め対応させていただきます。	建設課	部長コメントに同じ (補足として) 矢崎荒屋線は、平成20年度をもって予定区間は終了しています。今後の計画において整備方法を含め検討します。	C1	道路整備
24	1-3	附馬牛町	6月26日	57歳 男性	矢崎・安居台線は前期5カ年計画に載っている。今年と来年で造らなければならない。きちんとやってもらいたい。			建設課	今後の計画においては、整備方法を含め検討します。	C1	道路整備
25	1-3	松崎町	6月24日	61歳 男性	1年前に給食センター新築に伴う材木町駒木線の道路拡張の話があった。地権者の方も含め説明会があり協議してもらい、そこまでは良かった。1年経っても何の音沙汰もない。予算等の問題はあるだろうが、進捗状況ぐらいの連絡があってもいいのではないかと。地権者の方も心配している。		(施設整備担当部長) 説明会を開きます。	建設課	7月16日に地元説明会を開催したところです。 八幡薬研淵線との交差点から旧蓬田橋までの歩道の改修と給食センター付近の道路拡張についての要望ですが、食育センター建設に併せて整備したいと考えています。そのために事前調査として、測量設計を先行して進める計画です。	B1	道路整備
26	1-3	附馬牛町	6月26日	69歳 男性	綾織・附馬牛間の道路はバスが通れる幅があるのはよいが、枝などが出ていて交通の妨げになっていて危険。交通量も多くなってきており、何とかしてほしい。	(副市長) 木の所有者の問題などを確認しつつ伐採していきたい。その際、雇用創出の場ともしたいと考えている。皆様からもどこの木が妨げになっているかなどの情報を寄せていただきたい。 (市長) 考えようによっては、すぐにできるものもある。	(施設整備担当部長) 現地確認をし、臨機応変に対応する。	建設課	緊急雇用対策事業として建設業者との契約が整っていますので路肩の枝払い及び草刈を行います。	A2	道路整備

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
27	1-3	附馬牛町	6月26日	68歳 男性	通称「安愚楽街道」に家がある。道路を修理してもらい、いくらか良い道路になったが、トレーラーが行き来し、道路が壊れてきた。通学する小学生が危ないので市に相談したが、順番がある、と言われた。	重量トラックも行っているから、道路のいたみは激しい。建設課には話し、現地確認をさせて対応を検討させる。		建設課	農道事業において整備した道路でしたが大型車両の通行が頻繁となり舗装路面の補修が必要になっています。延長も長いことから補修費の範囲を超えているため、計画的な整備について、検討していきます。	B1	道路整備
28	1-3	宮守町	7月13日	69歳 男性	市道の維持管理を良くして欲しい。市道高原線について、平成20年度から市道の工事が始まり全面通行止めになっている。平成21年度も工事が継続されると聞いていたが、まだ工事が始まっておらず、通行止めの状態のまま放置されている。	理由もなく通行止めにするようなことは、あってはいけないこと。	(施設整備担当部長) 指摘箇所の市道は、平成20年度に法面の工事を半分実施したところ。まだ落石の危険があるため通行止めをしている。平成21年度の工事発注が遅れており、ご迷惑をおかけするが、残りの工事も早急に発注したい。 なお、通行止めの看板については、もっと誠意のある内容に取り替えたい。	建設課	市道高原線災害防除工事については、完成までに期間を要することから通行止めにご協力をいただいているところです。7月22日に工事契約が整いました。平成22年2月末の完成に向け工事を進めています。	A1	道路整備
29	1-4	遠野町	6月30日	68歳 男性	防災行政無線が聞こえない地域がある。蔵の道ギャラリーから大工町にかけての周辺は、ほとんど聞こえない。防災の根幹でもあるので、難聴地域の解消をお願いしたい。	風向き等の問題もあり、とびあ付近でも聞こえないという声がある一方で、「うるさい」という苦情もある。災害対応でとても重要な問題であり、遠野テレビの音声告知端末も好評なので、その活用も含めて考えたい。	(総務部長) 10年くらい前に聞こえない地域を限定して、どういう原因で聞こえないか調査した経緯がある。音と音がぶつかって消されるとか、風向きが原因という結果もあった。その結果を踏まえ一度調整をした。その後、聞こえないという苦情は受けていなかった。災害時には一番有効な手段と考えているので、早速現地を確認して早急に何ができるのか、中期・長期的に何ができるのか検討したい。 消防庁舎の移転と合わせて、防災行政無線のデジタル化も検討している。また、遠野テレビの音声告知端末もIP音声告知端末を本年度から3年かけて更新します。	保安施設課 管理情報課	近くに設置された子局同士の音域が干渉しあっている状況なので、聞きづらい現象が起きていたようです。 時差放送機能を使用して放送テストを実施した時に第6区長立会いで、放送を聞いたところ子局同士の音の干渉が無く「これなら十分に聞こえます。」と言葉をいただいています。 時差放送機能とは子局同士が近い場合、自動的に子局がA、Bと選択され、Aが放送終了後にBが放送を始めるものですので、場所によっては2回同じ放送が聞こえることとなります。今後の行政放送は、時差放送することと文節ごとにゆっくりと放送することで、解消されることと思います。 また、遠野テレビの音声告知放送でも、防災行政無線で放送した内容を放送しておりますので、今後、より加入率を高めていくよう努めます。	A3	防災無線
30	1-4	松崎町	6月24日	65歳 男性	ケーブル電話の電話帳を更新してほしい。		(総務部長) 現在市内のケーブルテレビ加入率は68%。2011年アナログ放送が終了し、デジタル放送に完全移行することにもない、今後加入率増が予想される。更新のタイミングとしてはその時と考えている。また旧遠野市分でもIP音声告知端末の更新を予定しており電話帳の更新を見合わせた経緯がある。	管理情報課	部長コメントに同じ。 なお、旧遠野市エリアのIP音声告知端末への更新により、NTT等の加入電話とケーブル電話の一体的な利用が可能になること及び電話帳掲載への意向を再確認する必要性等を勘案しながら作成形態を検討したい。因みに、宮守町の整備の際には、ケーブル電話のみの方及び加入電話と異なる電話番号の方だけを掲載した電話帳を配布しています。	C2	CATV
31	1-4	宮守町	7月13日	66歳 男性	遠野テレビで、地上波デジタル放送が美しく見ることができる。今の(アナログ放送のように)NHKや民放局が(地上波デジタル放送の中継局を整備することについて、市ではどう考えるか。	遠野テレビへの加入率は、宮守町は高い。民放局においては、地上波デジタル放送の中継局を整備する話はない。	(総務部長) 現在、物見山にNHKと民放局によって地上波デジタル放送の中継局が整備されているが、民放局においては宮守町内に中継局は整備されない。宮守町の遠野テレビへの加入率は、81%と高い。地上波デジタル放送への切り替えに伴って、テレビの視聴ができない地域へ、遠野テレビの加入に向けた説明会、PR活動を実施していく。	管理情報課	昨年の広報7月号でお知らせしているとおり、民放局においては遠野(物見山)中継局以外にデジタル局を整備する計画はありません。 NHKにおいても単独局の置局では設置効果が薄いことから、置局をしないでケーブルテレビに移行するための支援制度が創設され、今後、宮守町を含む関係地域への説明会や意向調査を予定しています。 市としては、遠野テレビの加入により地デジの難視解消を進めていく方針であり、今後、地域説明会や加入促進へのPR活動を実施します。	B2	CATV

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
32	1-4 松崎町	6月24日	70歳	男性	平成25年に現消防署の取り壊しが計画されている。消防署の半径1km以内には屯所が不要とのことで屯所もない状況である。消防署の跡地を8区の自治会館にしてもらえないか。	総合防災センターは運動公園付近に移す方向で進めている。経過報告させるようにする。	(消防長) 総合防災センターをH23,24年度で建設、H25年度に稼働予定。24時間体制の消防が地区から無くなるのは地域住民にとって非常に不安なことと思う。跡地には屯所もしくはそれ以上の機能を持ったものの設置が必要。また消防団員が少なくなってきたことから、遠野消防署内部に検討会を置こうと考えている。市役所消防団の拠点等にすることも考えている。今の時点で具体的な話はできないが、必要性は感じているので地区住民と話し合いながら進めていきたい。	保安施設課	現消防庁舎は耐震性に問題があるため、再利用は難しく取り壊す計画です。 跡地利用については、この地域の防災力の検証を含め地域住民との意見交換会を開催しながら検討を進めていきます。	B1	防災
33	1-4 土淵町	6月22日	50歳	男性	自治会の会計事務を行っている中で感じるのだが、水道の基本料金が非常に高いと思う。水道料金を安くしてくれとは言わないが、公民館として使用する水の量はわずかなので、基本料金に達するまでの残りの水を飲料用タンクなどに貯水して、有事の際に備えるというのはどうか。		(経営企画室長) 有事の際の多目的水槽について、公民館単位での整備については難しいかもしれないが、各町単位の整備は必要かもしれない。いずれにする防災会議等での検討が必要と考える。 防災に強いまちづくりについて言えば、ハード整備はもちろんのこと、ソフト面への取り組みが重要と考えている。地域防災組織を各行政区単位で100%組織化し、訓練をしっかりと積み有事に備えることが大切。ひとり暮らしや障がい者世帯について把握し、優先的に避難させるための「防災マップ」づくりなどを優先させたい。	保安施設課	地区公民館に飲料用貯水タンクの設置という提言ですが、今後の検討課題とさせていただきます。	D	防災
34	1-4 青笹町	6月19日	55歳	男性	大地震がいつ発生するか分からない。災害時に弱者を一人も見逃さない方がクローズアップされている。9月には防災訓練があるが、消防や行政としてはどのような訓練や取り組みを考えているのか。	弱者対策、高齢者の一人暮らし、老夫婦が増えているので、大きな問題。去年相次いだ大地震では、安否確認に4時間から5時間かかった。そういう意味でも、しっかり考えていかなければいけない。	(消防長) 消防庁舎の移転と総合防災センターの計画を進めていて、25年の供用開始を目指している。災害時、自治体だけではどうにもならない面もある。地域の力が大切になってくるということで、消防団や婦人消防協力隊、自主防災組織、福祉の方の見守り隊なども協力して、安否確認などの体制づくりを進めたい。IP電話を活用した仕組みづくりも進めていきたい。防災訓練でも取り入れていく予定。	消防総務課 福祉課	今年度の防災訓練は、災害時の円滑な情報収集及び伝達方法の検証を目的に実施します。具体的には、災害発生時に自分ひとりでは避難が難しい「災害時要援護者」の安否確認を重要事項と捉え、自主防災組織や自治会、及び消防団を中心に「災害時要援護者安否確認訓練」を市内全行政区を対象にして実施します。また、「災害時要援護者見守り体制」に関する整備を行っており、約20行政区がモデル地区となり災害時の安否確認及び避難訓練を自主防災組織と連携して行う予定です。 更に、今年度は孤立地区を想定しての県防災ヘリによる救助訓練等も行う予定です。	A3	防災
35	1-4 遠野町	6月30日	71歳	男性	穀町商店街では、閉店した商店もあるため、街灯の電気料金の負担が大変となっている。自治会へも負担の要請があったが、筋違いとを感じる部分もある。行政の方から、指導していただけないものか。	遠野の町はまだ暗いという声もある。商店街と住宅と混在の中にあって、経費や維持管理の問題をきちんとしたルールづくりや市の対応があってもいいのではと思っている。	(経営企画室長) 上組町、駅前や仲町、一日市の商店街も同様な問題を抱えているようだ。電力消費の少ないLEDにするなど検討しているところもあるのだが、投資が掛かるもの。各商店街の現状や将来見通しを聞くなど意見交換しながら、対策を見い出す機会を持ちたいと思っている。	産業振興課	各商店街の現状は、会員の減少から街路灯の電気代節約やLEDへの交換などを検討していますが、街路灯設置から30～40年経過している商店街が多く、維持管理費が増えているため、厳しい財政運営を強いられていますので、市として何ができるのか7月13日に商店街との会議を開催し、出された意見をもとに検討を進めております。	B1	街路灯
36	1-4 松崎町	6月24日	70歳	男性	道路が狭く、暗いので防犯上良くない。防犯灯を付けてほしいといわれている。消防署が付けてくれば一番いい。 道路拡張で地元地権者が道路用地として、市に土地を寄附している。			地域生活課	市内の防犯灯新設については、地元で優先順位の高いものから設置しています。東北電力から毎年、寄贈されている制度を活用することで検討します。	C3	街路灯

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
37	2-1 遠野町	6月30日	66歳	女性	保健推進員として、健診の受診率を上げようとして取り組んでいる。健診がある日の前日に、防災行政無線などで市民に健診の周知してほしい。そうした取り組みでも、うっかり忘れを防ぎ、受診率を向上できるのではないかと。		(健康福祉部長) 昨年は35%の目標に対し、41%の実績値。24年までに65%の受診率の達成は容易ではない目標値。うるさいと言われるかもしれないが、しつこく「明日は健診」という告知が必要と感じている。健診の種類に応じたタイミングを図りながら、防災行政無線や遠野テレビ音声告知を活用して周知に取り組んでいきたいと思う。	健康長寿課	市が実施する各種健診は、保健推進委員からの呼びかけはもちろん、遠野広報や遠野テレビ等を活用し受診勧奨を行っています。防災行政無線の活用は防災行政の目的に合わないとのこと活用できませんでしたが、遠野テレビの音声告知の活用や、自治会組織の協力を得ながら、地域での健康づくり活動を推進し受診率の向上に努めます。	A3	健診
38	2-1 宮守町	7月13日	69歳	男性	今年の健康診断について、鱒沢地区の会場が鱒沢小学校で行われた。道路も狭い上、傾斜もあり、校庭に車を駐車できないため、路上駐車車両が並び大変危険な状態であった。昨年までは、柏木平のふるさと交流館が会場であったが、健康福祉の里によれば、レイクリゾートで管理しているため健康診断に使用できないとの回答であった。 健康診断の会場を検討いただきたい。	雨が降った場合など、場所が悪い。	(健康福祉部長) ふるさと交流館が借りられないことは承知していた。過去に鱒沢小学校で健康診断を実施した経緯を踏まえ、会場を設定した。現在、健診車両も大型化が進み、受診する方々の駐車場や待合場所の確保も検討しなければいけない。 例えば、鱒沢保育園の場所も含めて、健診会場を検討したい。	健康長寿課	健診会場の設定にあたっては、駐車場や待合場所の確保、健診や健診車の設置スペースのほか、地域のみなさんが集まりやすい場所であるかなど、様々な面から検討したうえで決定しています。今後同様の視点で健診会場を設定したいと思います。 駐車スペースについては、事故なく安全に健診が出来るよう十分配慮していきます。	A3	健診
39	2-1 宮守町	7月13日	55歳	男性	ある人が岩手中部病院に行ったら、紹介状が無ければ診察してもらえないと、がっかりして帰ってきた。	岩手中部病院は、紹介患者を診るというルールのもと、かかりつけ医と大病院との棲み分けのもとでスタートしたものの。	(健康福祉部長) 遠野病院も含めて、実は県立病院は紹介患者を診る位置付けの病院（二次医療機関）である。岩手中部病院も、予定より少ない医師数となっている。市民も一緒に環境を考えないと、医者が逃げていく。また、上手な受診の仕方も大切。	市民医療整備室	原則的に医療の提供体制は、病気やケガの症状の重さに応じ、主に初期治療や軽症患者を治療する開業診療所（病院）の1次医療機関、高度な手術治療など1次医療機関では対処できない治療が必要な患者を受け入れる県立病院などの2次医療機関、救急救命治療など命に関わる重症患者を受け持つ3次医療機関と三つに役割分担しています。 市では、症状に応じた医療受診など市民マナーを啓発しています。まずは、かかりつけ医を定めて、医師と治療方法を相談しながら健康管理に努めることお勧めします。	D	医療
40	2-1 小友町	7月2日	30歳	女性	ねっと・ゆりかごを利用しないかとの誘いはあったが、出産直前だったので利用しないで、産婦人科病院に通院した。ねっと・ゆりかごの存在は認めるが、やはり遠野で出産できないのは大きな障害と感じる。出産できる環境をつくるための産婦人科医師の確保と小児科医師の確保を望む。	ねっと・ゆりかごは完全なシステムではない。健診の負担を軽減することが目的。さらに分娩時の安心感を与えるためのシステム。 この取り組みをPRし、全国の産婦人科医に呼び掛けるのもこの事業の目的。ぜひ産婦人科医を招致し、安心して子どもを産める環境づくりに努めていく。		市民医療整備室	市内でお産を扱う医療機関がない中で、遠野の妊婦さんを守ろうと、妊婦が通う医療機関の連携協力をいただき遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」が生まれました。助産院ではお産を扱わず、妊婦が安心して産科主治医のもとで安全にお産を迎えることができるよう、地域で助産師が身近なサポートをしています。このような産科医療の環境改善の取り組みを全国にPRして産科医・小児科医の招へい活動に繋げていきます。 市民医療環境整備事業では、産科医と小児科医の招へいと開業支援に力を入れています。子育て支援の分野とも連携し「子供を産み、育てるなら遠野」を目指して、引き続き医師招へい活動を強化していきます。	A1	医療

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
41	2-1	遠野町	6月30日	71歳 男性	<p>スポーツ施設の充実と、指導者養成の強化をお願いしたい。</p> <p>野球場は、県大会をするには球場が足りないため、近隣自治体の協力が不可欠。また、サッカー場も芝のコートが足りない。芝生グラウンド4面の確保を実現してほしい。</p> <p>県民体育大会の成績を見ると、各競技協会に選手強化を任せきりに見える。協会を指導するような取り組みが必要と考える。</p>	<p>きちんと腰を据えて、勝つ、優勝旗を持っていくという話題は地域の元気につながる。スポーツ施設を充実して、子どもたちだけでなく、医療費の抑制という健康づくりにもつながることなので、きちんとした計画を持って取り組んでいきたいと思っている。体協ともきちんと連携を取っていききたいと思う。</p>	<p>（教育長）</p> <p>学校施設の開放を含め、市内の運動施設は多く利用されていると認識している。維持管理を含めて、施設の管理をしっかりと考えていかなければと思っている。とすぼも立ち上げて、受講者からも体調が良くなったとか、病院受診が減ったとか健康面でも好評を得ている。そういった需要にも対応できるように、施設についてはきちんと整えていききたいと思っている。</p> <p>サッカー場の芝生コートに関しては、国体開催も控えているので、整備する方向で検討しているところ。多目的運動場の簡易フェンスの設置についても、検討していきたい。</p>	スポーツ健康課	<p>スポーツ施設の充実については、今年度は稲荷下屋内運動場や銀河の森運動公園ゲートボール場の改修を行う予定です。また、平成28年開催の岩手国体サッカー少年男子会場地の内定を受けて、サッカー場芝生グラウンド1面の整備を進めることで検討しています。今後とも、計画的な整備に向けて取り組んでいきます。</p> <p>指導者養成については、トップアスリートやスポーツアドバイザーによる選手及び指導者の養成・育成のため、近年においては少年野球、ジュニアサッカー、バレーボール、テニス、一輪車、スキーなどの教室や講習会等を実施しており、今後も市体育協会、種目別協会及び市スポーツ少年団関係者とも相談しながら指導者養成に努めていきます。</p>	B1	体育振興
42	2-2	附馬牛町	6月26日	36歳 女性	<p>わらすっこプランなどは大変素晴らしい政策とは思いますが、少子高齢化の社会にあって大綱2の介護保険サービス利用者支援事業に充てられる465万円の予算は少ないのではないかと。家族に寝たきりがおり介護している。自分で送迎していたが、福祉タクシー券(1枚580円・月2枚配布)を知り、6月に申請した。市内の医療機関には、ただで行けると思っていた。中心地であればタクシー券での通院が有効だが、在である中心地よりもお金がかかっており、医療費も税金も払っているのに、さらにチケットを多く使わなければならない状況は命に値段を付けられているように感じられる。介護は自宅で見ることが一番と言われているので、自宅で介護している人たちのサポートをしてほしい。在と中心地が平等になるようにしてほしい。社会福祉協議会のケアマネも「実際利用者が感じたことを訴えていただいた方が行政に届くと思う」と感じているらしい。地域差がありすぎると言っていた。</p>	<p>地域ケアマネも思っていたこととあれば、見直すべきは見直して、限られた予算の中で工夫して対応していきたい。</p>	<p>（経営企画室長）</p> <p>福祉タクシーの助成は、もともと重度障がい者の方の負担軽減のため、初乗り料金を公費で助成するものであった。病院までの距離の問題はこの助成制度ができた時からの課題であった。遠距離の場合の課題はまだ解決できていない。次回の計画、早ければ平成22年度までには検討させていただきたい。</p> <p>なお、社会福祉協議会で福祉有償運送という低額での移送サービスも行っている。福祉タクシーは、はじめ身体障害者の方を対象に限定的に始めたものだった。高齢化が進んだり介護を受ける人が多くなったので、新たに介護度4、5の方を対象とした新しい手当の仕方も検討したい。</p>	福祉課	<p>福祉タクシー事業は、重度障がい者等に対しタクシー料金の一部(初乗り料金2回分/1カ月当たり)を助成することにより、重度障がい者の社会参加促進及び通院等の日常生活における移動を支援するための事業となります。</p> <p>この事業は、タクシーの初乗り料金のみを助成であるため、郊外であればあるほど通院に要する交通費は、ご指摘にもあったとおり高額なものとなります。</p> <p>今後、こうした負担を是正するため、総合交通対策事業の見直しや、社会福祉協議会等の関係機関と協議しながら、障がい者等方々が利用しやすい交通手段の確保について検討したいと思います。</p>	B1	老人福祉
43	2-2	宮守町	7月13日	55歳 男性	<p>入院して3カ月経つと、退院か転院を余儀なくされる。転院するとしても、療養型医療施設しか紹介されない。市には、この実態を踏まえ対処いただきたい。</p>	<p>老老介護も大きな問題であり、介護施設に入所できない待機者も大勢いる。総合計画後期基本計画にも位置づけ、実態を調べて対応したい。</p>	<p>（健康福祉部長）</p> <p>医療機関は、診療報酬の関係で、症状等によって退院や転院をしなければいけなくなっている。遠野市は、在宅介護を進めている。</p> <p>また、介護保険計画で、30床の増床も計画に盛り込んでいる。</p>	健康長寿課	<p>新たに計画した第4期介護保険事業計画（平成21年度～23年度）の中で特養30床増床、グループホーム2カ所、小規模多機能型居宅介護事業所3カ所の整備を計画しています。計画の実現に積極的に取り組み入所待機者の解消や在宅介護支援の充実を図ります。</p> <p>現在、福祉用具給付及び住宅改修助成の拡大など市独自の事業に取り組むなど在宅福祉の充実を図っています。また、健康福祉の里を地域包括支援センターに位置づけ在宅介護の相談機能を充実し、市内6カ所に設置している在宅介護支援センター、社会福祉協議会等とネットワークを構築し相談を行っていますが、更なる充実に努めていきます。</p>	A3	老人福祉
44	2-2	小友町	7月2日	71歳 男性	<p>斎場整備事業が本年度の計画に盛り込まれているが、その前に高齢者が暮らすための老人福祉施設の整備が優先ではないかと感じるが。</p>	<p>斎場は老朽化が著しく、緊急を要するため、計画時期を早めて整備を行おうとしている。</p> <p>決して老人福祉をおざなりにしているわけではない。これまでに特別養護老人施設の30床の増床や通所施設の充実等も行っている。今後も福祉サービスについては、継続的に取り組んでいく。</p>		健康長寿課	<p>平成21～23年度を計画期間とする介護保険事業計画「ハートフルプラン2009」では、特別養護老人ホーム30床の増床のほか、認知症グループホーム2カ所の整備等を計画しています。</p> <p>この計画期間における高齢者福祉施設の整備については、国の経済危機対策の一環として整備補助のかさ上げが実施されており、これらを有効活用しながら、積極的に取り組んでいきます。</p>	A1	老人福祉

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
45	2-3	上郷町	6月25日	66歳 男性	平成27年度以降、遠野市の人口は確実に2万人台になると思う。人口を増やそうといっても簡単にはできない。子育て支援、医療費助成など活性化をどうするか。	2025年には高齢化率は4割まで上がることが予想されている。人口も2万2000～2万3000人ほどになると見込まれる。人口減少は避けて通れない大きな課題。交流人口の拡大も有効であると考えている。遠野市の合計特殊出生率は1.70と県内で一番大きな数字となっている。目標2.0を目指し、人口減少の歯止めとしたい。		子育て総合支援室	遠野市総合計画の大綱の一つである「健やかに人が輝くまちづくり」に掲げたとおり、子どもの健全育成の強化を図るとともに、総合的な「少子化対策・子育て支援計画（遠野わらすっこプラン）」を策定し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに取り組んでいるところです。 少子化は、様々な要因が複雑に関係しており、その対策には、特効薬もなければ、即効性のある施策もないといわれています。少しばかり歩みは遅くとも、大きな理念のもと、市民の皆様との協働の視点に立って、しっかりと一歩一歩、着実に進めていくことが重要であると考えています。	B3	子育て支援
46	2-3	小友町	7月2日	39歳 女性	先日、保育園の父母会で話し合った際に出された意見を紹介します。 就職しても、子どもを産む際に離職しなければならなくなるのが現実。 子どもと遊ぶ施設がないので、雨天などは市外に出てしまう。雨の日でも遊べるような施設があってもいいのではないかと意見が出された。 障がい児は小学校までは市内でも対応できるが、中学校、高校の年齢になると市外でなければ対応できないので、障がい児への配慮をお願いしたい。	わらすっこプランを計画する中で、第3子の無料化を廃止し、保育料負担の全体的な軽減を選択した。この計画は、子どもの成長のように、常に見直しを行いながら育てていくというスタンスが根底にある。 今回いただいた意見は貴重な意見として参考とさせていただきます。		子育て総合支援室 産業振興課	安心して子育てできる雇用環境づくりには、企業の協力が不可欠です。そのため企業認証（表彰）の募集や、セミナーへの参加依頼など、積極的に企業と連携した事業を行っていきたいと考えています。認証（表彰）企業に対しては、市ホームページや遠野テレビの市政番組に取り上げるなど、企業のイメージアップや優秀な人材確保などにつながる各種広報を行い、企業のメリットになる施策を通して、協力を求めています。 雨天時に子どもとともに遊べる施設については、現在、在宅の子育て家庭を対象に、白岩の子育て支援センター「まなざし」をはじめとする各児童館で、平日の午前中（まなざしは、日曜・祝日を除く日中）施設を開放していますので、ご利用ください。なお、休日の施設については、遠野わらすっこプランの案件として、公共施設開放などを検討しているところです。 障がいを持つ小学生の支援については、平成19年度から花巻清風支援学校遠野分教室を整備し、今年度からは日中一時支援に係る費用助成事業を始めたところですが、中高生の支援についても、遠野わらすっこプランの案件として日中一時支援に係る費用助成事業等を検討したいと考えています。	B3	子育て支援
47	2-3	小友町	7月2日	30歳 女性	現在、派遣社員として市外の会社に属し、市内で働いている。今の会社には、産休制度はあるが、元の派遣先に復帰できる保障はない。また、社会保険料を全額自己負担しなければならず、その負担の大きさから、現実としては辞めざるを得ない。市内企業の産休制度を順守するよう働きかけを行ってほしい。	法律はあるが、なかなか守られていないのが実態。わらすっこ条例にも盛り込んでいることから事業主の皆さんにも、お母さんたちが安心して子どもを持つことができるよう働きかけていく。		産業振興課 子育て総合支援室	労働条件に関しては、男女雇用機会均等法第9条に妊娠、出産等を理由とする不利益の取扱の禁止が定められています。 社会保険料については、労働基準法第161条の規定により、事業主と被保険者が保険料額の2分の1ずつ負担することになっています。なお、育児休業中は保険料免除の手続きができます。 市としては国・県と連携し、より多くの企業に各々の実情にあった企業環境と子育ての両立支援策を、積極的に導入していただけるように、制度の周知を図っていきます。	A2	子育て支援
48	2-3	宮守町	7月13日	57歳 男性	幼保一体は、旧宮守村の時代から取り組んでいるが、市の考え方を聞きたい。	幼保一体は、維持していく。ただし、子育て環境として、一地域に二制度では限界もある。一定の回答を示す時期に来ていることから、議論の場を設けたい。		子育て総合支援室	当面は、幼保一元化の基本理念を踏まえ運営していくとします。 早ければ来年度から、長期的な施設整備計画や制度体系を含めた運営主体について、各関係団体等と協議を重ねながら進めていきたいと考えています。	B3	子育て支援

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
49	2-3 松崎町	6月24日	63歳	女性	町場に公園がほしい。親子が集える場所がほしい。鍋倉公園は遠すぎる。蔵などを建てるより緑のある公園がほしい。子供のための条例があるのはよいが、そういうことも考えてほしい。 また、旧大出小中をこどもたちが集えるものにしてほしい。	条例を3月に制定した。子どもたちにとってどのような環境が良いのか、みんなで考えていこうということ。現実問題公園がない。稲荷下区画整備事業、下日区画整備事業、駅前広場、上一日市宇迦神社隣接の敷地にも公園設置を考えている。子どもの遊べる場所として、柏木平、遠野運動公園等を利用していきたい。		子育て総合支援室 文化まちづくり推進室 ふるさと定住推進室	市内には、農村公園を含め20箇所の公園があります。今年度は、中心市街地活性化事業により上一日市宇迦神社隣接の敷地を公園にする予定です。また、全公園の遊具の安全点検も行うことにしています。今後は、市民の皆様からの寄附金で設けた「遠野市わらすっこ基金」を財源に、計画的に公園整備を進めたいと考えています。 旧大出小中学校の跡施設の活用については、平成22年度から「遠野早池峰ふるさと学校」として本格的に事業を開始する予定です。	B1	子育て支援
50	2-3 附馬牛町	6月26日	36歳	女性	附馬牛保育園の裏山が急傾斜で、危険性が高い場所にあるということから移転するという噂を聞いたが、具体的にはいつ頃、どの場所に移転するのか教えてほしい。	保育園も古い順から整備していった。移転・改築となるとしても、このエリア内に設置することと思うが、保育協会とよく情報を共有するように努める。		子育て総合支援室	附馬牛保育所の施設は、昭和50年に建築（築34年）され、市内の保育所では白岩保育所に次いで2番目に古い施設です。施設改築に係る優先順位は、原則的に保育所等整備計画に基づき、保育協会との連携協力により古い施設から順に改築することとしています。 なお、附馬牛保育所は、裏山が急傾斜でがけ崩れが発生する恐れのある被害想定区域にありますが、県や市が協力して定期的な点検や、雨量が多い時などは臨時的に点検し、安全を確認しています。	B1	子育て支援
51	2-3 松崎町	6月24日	63歳	女性	わらすっこ条例などこどものための政策には感謝している。	身の丈にあったもの、子供たちのためのバックアップとなるものを探した結果が条例という形になった。		子育て総合支援室	遠野市わらすっこ条例の制定により、子どもの育成や子育て家庭の支援に対する意識の高揚を図るとともに、地域住民の皆様への参加を促し、地域を挙げて「子育てするなら遠野市」として、その環境づくりを進めたいと考えています。 今後とも、市民の皆様のご協力をお願いします。	A3	子育て支援
52	3-1 青笹町	6月19日	62歳	男性	遊休農地がたくさんある。食糧自給率向上のために、市は遊休農地の再利用の対策について、どのように計画しているのか。	米価が今とは異なるが、かつて遠野は間違いなく100億円の生産額を達成していた。かつての生産額に向かってみんなで取り組むことにより70億が80億になる。 もう一つは、行政も農家も、補助金にまどわされることなく遠野スタイルとしての農業振興策をい見い出せないだろうか。そして、意識も変えていかなければ、これからの農業には立ち向かってはいけないということでアストを立ち上げた。 この4年間の取り組みを検証しながら、もう一度腰を据えてチャレンジしようという状況です。	（農業活性化本部事業推進部長） 耕作放棄地に関しては、農業委員の方々と話しをしている。様々な補助メニューもある。対策協議会も設立して検討しているところ。耕作放棄地はどちらかといえば山の裾野とかの日影にあるなど、いろいろな条件があって放棄されているもの。そこに補助事業として立派に整備するのかという声もあった。補助があるとはいえ、農家にも負担がかかるもの。簡易放牧など、できるだけ負担や経費が掛からない形で効率的に活用できるものをアストでも考えている。	農業活性化本部	昨年度、市・農業委員会合同で耕作放棄地状況調査を実施したところ、市内全町で耕作放棄地が確認されています。 また、現状把握と解消対策は同時進行させる必要があると考え、遠野市農林水産振興協議会内に耕作放棄地解消対策部会を立ち上げ、状況把握結果を踏まえ、解消計画を策定し具体的対策を検討しているところです。 国では今年度から平成25年度までの5年間「耕作放棄地再生利用緊急対策」を実施することとしています。 今年度、市ではこの対策を活用し、9月から耕作放棄地所有者を対象とした意向調査を実施し、耕作放棄地現地確認（追加分）を踏まえ、活用計画策定と復元作業を並行して行い、耕作放棄地の解消に取り組めます。	A3	遊休農地

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
53	3-1 上郷町	6月25日	65歳	男性	耕作放棄地が増えているようだが、再生させる手段としてソバの栽培をして、それを使って観光客をもてなすのはどうか。 もしくは菜種を栽培して、油を作るなど、地域の活動を支援しながら、耕作放棄地を利用する方法を考えてみてはどうか。		(農業活性化本部事業推進部長) 農業委員会が把握している耕作放棄地の面積(12~13ha)と農政局で抑えている面積に、かなりの開きがある。耕作放棄する理由としては、地形や気候、その他の要件がある。現在、農業委員会の中に設置している協議会で耕作放棄地の再生方法、例えば畜産への利用などを検討している。その中には、ソバや菜種なども入っている。早急に事業を組み立て、課題解決に向けた取り組みを進めたいと考えるが、時間をいただきたい。	農業活性化本部	昨年度、市・農業委員会合同で耕作放棄地状況調査を実施したところ、市内全町で耕作放棄地が確認されています。 また、現状把握と解消対策は同時進行させる必要があると考え、遠野市農林水産振興協議会内に耕作放棄地解消対策部会を立ち上げ、状況把握結果を踏まえ、解消計画を策定し具体的対策を検討しているところです。 国では今年度から平成25年度までの5年間「耕作放棄地再生利用緊急対策」を実施することとしています。 今年度、市ではこの対策を活用し、9月から耕作放棄地所有者を対象とした意向調査を実施し、耕作放棄地現地確認(追加分)を踏まえ、活用計画策定と復元作業を並行して行い、提言の作物の検討も含め耕作放棄地の解消に取り組めます。	A3	遊休農地
54	3-1 綾織町	7月3日	73歳	男性	遠野ではエサ米を作っているのか。減反しているところで幾らかでもエサ米を作らせて収入をあげればいいのか。		(農業活性化本部長) エサ米について今年は約9反分の作付け見込み。転作確認したものを集計中なので、実際に作付けを予定した人がやったかどうかまだ確認が取れない。飼料米は増やしていかなければならないと思う。	農業活性化本部	エサ米(飼料用米)は、主食用米とは別に区分され、減反として取り扱われる米穀で、新たな需要として期待されている用途であります。主に豚や鳥の配合飼料に混ぜて使用されるもので、輸入トウモロコシの代替とされています。全国的にも注目され、農業関連誌においては、常に話題となっています。 しかし、販売先の確保、販売価格が安価などの課題があり、簡単には取組むことはできないのが現状です。 市では、遠野市水田農業推進協議会を中心に生産から流通、販売などについて、地域にあった方法を検討していることとです。	C3	遊休農地
55	3-1 青笹町	6月19日	62歳	男性	遊休農地は、山際だけでなく、山間へき地だけでなく一等地にもある。市としてどのような取り組みを考えているのか。	耕作放棄地の問題は大きな問題となっていて、それぞれの協議会を組織して本腰を入れるという施策を国が打ち出している。農業委員会が捉えている数値と、市の数値と違う。農政局の数値はもっと違う。データベース化をきちんとし、現状をしっかりと把握しなければならないと思っている。 また、農地法が大幅に改正され、所有から利用という形になった。優良農地の確保に取り組んでいく。	(農業活性化本部事業推進部長) 耕作放棄地の把握には、農業委員会と市が一緒になって取り組む対策を検討したい。	農業活性化本部	昨年度、市・農業委員会合同で耕作放棄地状況調査を実施したところ、市内全町で耕作放棄地が確認されています。 また、現状把握と解消対策は同時進行させる必要があると考え、遠野市農林水産振興協議会内に耕作放棄地解消対策部会を立ち上げ、状況把握結果を踏まえ、解消計画を策定し具体的対策を検討しているところです。 国では今年度から平成25年度までの5年間「耕作放棄地再生利用緊急対策」を実施することとしています。 今年度、市ではこの対策を活用し、9月から耕作放棄地所有者を対象とした意向調査を実施し、耕作放棄地現地確認(追加分)を踏まえ、活用計画策定と復元作業を並行して行い、耕作放棄地の解消に取り組めます。	A3	遊休農地
56	3-1 附馬牛町	6月26日	71歳	男性	資料の大綱3について、経済不況に伴う飼料高に苦勞している畜産農家は厳しい状況にある。放牧料の値下げに取り組んでほしい。		(農業活性化本部長) 畜産は遠野市農業生産の約4割を占めており、H18年度は約30億。それだけ重要な産業であり、飼料の高騰が続いているのは心配。 放牧料はH20~22年度は本来220円のところを50円安くし170円としている。安くしているつもりではあるが、この3年間の状況を踏まえながら今後検討していく。	農業活性化本部	放牧料金については、平成22年度までは現行料金で行くことが決定されています。 平成23年度以降については、利用料金の適正化を進める方針です。 その上で社会情勢等を考慮し、必要とあれば新たな助成を検討していきたいと考えています。	A2	畜産

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
57	3-1 宮守町	7月13日	55歳	男性	先人が地域の農業振興に投じた北上山系開発での公共牧場施設を生かして欲しい。乳価も伸び悩み、経営努力が報われない。経営を支える1つの手法として、公共牧場を生かして欲しい。	畜産振興や耕畜連携が重要。アストを立ち上げ、これまでの4年間を総括して、次の総合計画後期基本計画にも位置づけたい。	(農業活性化本部長) 公共牧場の使用料は、1日当たり220円を3年間に限って減額している。 更に利用に取り組んでいく。	農業活性化本部	公的な草地資源の利用による家畜飼養体系は、この地域に先人から引き継がれてきた文化です。 しかし、現在の公共牧場の状況は、農家及び飼養頭数の減少と里山での放牧の普及などの要因により、利用率が低下してきています。公共牧場及びそれを管理する畜産公社も、あり方及びその役割も変化していると認識をしています。このことから現在、公共牧場の機能再編を検討しているところです。	B1	畜産
58	3-1 小友町	7月2日	68歳	男性	乗用馬生産について、越冬放牧の開牧をお願いしたい。	国際大会での遠野産馬の活躍もある中で、生産環境づくりについては畜産振興公社の見直し、放牧部の在り方等を含めて議論していきたい。	(経営企画室長) 経済対策交付金の中で、今まで事業化できなかったものについて検討してきた。その中でも越冬放牧事業についても、担当課から要求が上げられている。 予算調整の中で課題となったのは、昨年の馬パラチフス問題。防疫体制が確立されていない中で、放牧場所や運営をどう行っていくかが議論された。市の考えとして「越冬放牧施設は必要ない」というのではなく、まずはこれらの課題をどう解決するかを優先的に考えなければならないということになった。越冬放牧については継続して検討する。	農業活性化本部	越冬放牧施設は、当歳馬の基礎体力、集団放牧運動の馴致、生産者の冬季業務軽減等の目的から必要性は認識しています。生産馬の付加価値向上のためにも、馬の里敷地内において施設建設を行うため9月補正予算に計上したところであり、越冬放牧を継続できるように支援していきます。	A2	畜産
59	3-1 青笹町	6月19日	55歳	男性	荒川牧場で馬パラチフスやヨーネ病が発生したと聞こえてきたが、畜産農家に知らされていない。地域にとってはとても大きな問題である。県の文化的景観にも選ばれた遠野の民俗文化や歴史的にも大切なもの。そうした中、なぜ、さらに牛28頭を放牧したのか。その経緯を知りたい。	馬主の方には気の毒な思いをさせたが、41頭を処分した。JRAからも専門家を派遣してもらい、間もなく終息宣言となる。放牧のあり方をもう少し考えなければと思っている。馬パラの対策では、市でも1千万円かけた。JRAでは2千800万円を負担してくれた。これを教訓として、家畜診療センターと畜産総合センターで、防疫体制を強化したい。	(農業活性化本部事業推進部長) 馬パラに関する防疫については、畜産農家にはチラシで周知した。ヨーネに関しては畜産農家に関しては周知はしていない。個人情報に当たることから、氏名は公表できなかった。畜産公社で隔離牧舎で対応した。	農業活性化本部	家畜防疫対策は、畜産振興の中でも重要な項目です。家畜伝染病については、岩手県南家畜保健衛生所においても、感染家畜の発見及び淘汰を実施し、清浄化対策に努めています。 馬パラチフスの対応については、県関係機関から評価されたところであり、この経験をもとに防疫対策マニュアルを策定し、関係機関との連携を確認しています。 公共牧場においては、家畜保健衛生所と連携し、分離放牧を実施し発生農場の清浄化に努めることにしており、発生農場保有牛との混牧は行わないことで確認しています。	A3	畜産
60	3-1 青笹町	6月19日	59歳	男性	市は農業生産100億円という計画を立てて取り組んでいるが、昨年の実績はどうだったのか。また、農産物の価格がなかなか上がらない中、今後の対策を市はどのように考えているのか。		(農業活性化本部事業推進部長) 農政局でこれまでは発表していた生産額が、19年産から市単位では発表されなくなった。アストの試算では、18年は畜産については伸びていると感じている。米の生産額が毎年3億から5億程度下がってきている。それは米価の引き下げと転作の強化が原因。県にも働き掛け、市町村単位の農業生産額を試算してもらうように話している。 これまでは浅く広く、色々なものに支援してきた。検証していく中で、ある程度作目の絞り込み、集約化、団地化も検討していかなければと思っている。	農業活性化本部	農政局の統計が発表されなくなったことから、独自で調査のうえ、実績の把握を行うことを考えています。 農協への出荷額についての把握はできませんが、産直や独自で販売しているものなどは、把握方法や集計方法を検討しながら、実態に近い数字を出したいと思います。 今までの取り組みの検証の中から、有望作目を絞り込み、生産体制を整えることにより、価格対抗力、販路拡大に結びつけ、契約栽培等に結び付け安定した収入を得ることを強化して行きます。	B3	アスト

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
61	3-1	綾織町	7月3日	73歳 男性	アストの中身がよく分からない。アストの主導で農家がどれだけ収入を上げているのか、裕福になっているのか。市内の農業所得はどれくらいなのか。どれくらいの農家に指導しているのか。限られた農家にしか行っていないのではないが。	アスト4年目を向かえた。お陰様で助かった、きめ細かく対応してくれたという声もある。数字が見えないことに関してはこちらももどかしさを感じている。数字としてしっかり出せるように分析する。一次産業は安定した一つの雇用の場として大切だと認識している。一次産業の有り様を今以上に加速させ、自立させたい。また農家の皆様に頼られる組織となりたい。末端の農家に通っていないのではないが、という提言があったが逆の話も聞く。まずは謙虚に受けとめていきたい。	(農業活性化本部長) アストは4年目。農業生産額について、H18年に約74億円の成果。H19年より国の農政事務所で統計発表・集計をしなくなったので正確な数字を把握できないでいる。県内の市町村も悩んでおり、私たちなりの推計をすることで検討している。 アストは遠野市と岩手県と農協が、農業振興のためタッグを組んだもの。農家の皆さんにとって最初の窓口となればと思う。 100億円について、H6に123億円の成果があり、これを再び、というのが狙い。農家の皆様の意欲を引き出したかった。農家を支援していきたいという	農業活性化本部	アストの支援については、JAの各部会やJA一斉外務でチラシを配布したり、遠野テレビを活用し周知しています。 農業者が自ら提案する事業あるいは一緒に取り組みしようとするやる気のある農業者を支援しており、団体、グループ等に4年間で59件の事業支援を行っており、研修支援については、34件で延べ703人の農業者等が利用しています。 今年度中に、アストの4年間の検証行い、成果、課題、行動目標を市民に示す予定です。 今後も、提言を謙虚に受け止めながら、JAと協働してより一層の周知を図りますので、所得向上を目指して積極的に事業を活用していただきたいと思います。 なお、所得等の把握については、データ把握に困難な部分がありますが、事業の検証を行う中で、できるだけ把握に努めます。	B3	アスト
62	3-1	小友町	7月2日	62歳 男性	本年度の事業説明を受けた中で、観光についてはかなり力が入っているが、アストを含めた農業への取り組みが見えてこない。アストの取り組みを知らない、事務所の場所を知らない人もいる。PRをもっとすべきであると感じる。	アストの設置については、良かったという意見もあるし、動きがよく見えないという意見もある。 アストを設置して今年で4年目。情報発信の在り方、現在の場所を含めて、これまでを振り返って検証する中から、組織の在り方、スタッフの数、JAから譲り受けた施設の活用策等、有意義なものにしていく。	(農業活性化本部事業推進部長) これまでピーマンやカボチャ、菊など、売り上げを伸ばしている作物もある。また、JAから譲り受けた堆肥センターを運営して、農業者の生産コスト削減にも努めている。また、野菜集出荷センターに栽培指導員を配置し、契約栽培の増加に努めている。 今後も農業者の声に対応していきたいと考えているので、意見を寄せてほしい。	農業活性化本部	アストの支援については、JAの各部会やJA一斉外務でチラシを配布したり、遠野テレビを活用し周知しています。 農業者が自ら提案する事業あるいは一緒に取り組みしようとするやる気のある農業者を支援しており、団体、グループ等に4年間で59件の事業支援を行っており、研修支援については、34件で延べ703人の農業者等が利用しています。 今年度中に、アストの4年間の検証行い、成果、課題、行動目標を市民に示す予定です。 今後も、提言を謙虚に受け止めながら、JAと協働してより一層の周知を図りますので、所得向上を目指して積極的に事業を活用していただきたいと思います。	B3	アスト
63	3-1	青笹町	6月19日	59歳 男性	食糧自給率を上げるためには、販路が大事であると思う。販路拡大のために、どのような具体策を取っているのか。また、今後の取り組みをどのように考えているのか。		(農業活性化本部事業推進部長) 首都圏での売り込みはしている。いいものはいいが、安定出荷ができるのかを必ず問われる。産地化、団地化を進め、固定したもので売り込みをかけていかないと相手にしてもらえないと考えている。ロットの問題もあるが、積極的に販路拡大に取り組む。	農業活性化本部	安定した収入が得られるように契約栽培の推進、販路開拓のために、市場関係者を訪問したり、量販店等のバイヤーに直接交渉したり、店舗での販売促進に直接出かけて商品の陳列のお願いをしたり、商談会への参加や企業と連携して販売先をさがしたりと、地道に交渉を繰り返しているが、ロット・品質等の問題もあり一気に売り先を開拓する手段は、なかなかないのが実情です。 生産者と一緒になりながら、販路開拓に向け努力して行きます。	B1	アスト
64	3-1	青笹町	6月19日	75歳 男性	アストのこれまでの取り組みは、品数を増やして幅広くやってきている。しかし、このやり方では成果が上がらないと思う。岩手町や奥中山を見習って、品目を絞って遠野の特産を作るやり方をしなければいけないと思う。	アストチャレンジ100のように小さな取り組みの積み上げも大事だが、産地化や特化といったダイナミックな取り組みも大事。バランスとりながら、かじをとることも大事。アストの大きな役目と捉える。	(農業活性化本部事業推進部長) 多くの品目を栽培できるのは、強みであるが弱みでもある。 品目の絞り込みも必要であり、今までの取り組みを検証しながら、品目を選び産地化に向けて行きます。	農業活性化本部	市長、部長コメントに同じ	B1	アスト
65	3-1	綾織町	7月3日	68歳 男性	宮守と合併した時に、今までの計画がずさんだったので宮守と合わせて目標を100億円とした、と当時の担当部長から言われた。それ以後のアストの100億円が見えてこない。	JAが合併したことについては驚いた。その一方でアストを立ち上げて良かった、とも思った。宮守が入ったことによって100億が達成されたという考えはない。宮守が入ったことによる数字として正しいかどうかは考えなくてはならない。		農業活性化本部	アストは、農業者手取りアップに向け、やる気のある農業者の支援を行っている。 米収入が毎年3億円ほど減っていく現状に、追いつく作物はなかなかないのが実情です。 有望な作物を絞り込みながら産地化を目指し、手取りアップにつなげて行きます。	B1	アスト

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
66	3-1	松崎町	6月24日	62歳 男性	農業と畜産について、所得向上、遠野ブランド化、販路拡大についてどのように考えているか。		（農業活性化本部事業推進部長） アストとして、県のサブセンター、JA等に販路拡大のための働きかけをしている。安定出荷ができるかどうか、ブランド化、栽培期間を長くしてほしい、などの質問や要望がある。アストとして4年間浅く広く支援してきたが、これから作物の絞り込みをしていかなければ産地化にならないのではないかと考える。 遠野の特徴を考えると畜産がある。堆肥センターの堆肥がある。昔に戻って循環型農業にしてみてもどうか。またトンネル栽培なども強化支援していかなければならないと思う。	農業活性化本部	部長コメントに同じ	B2	アスト
67	3-1	遠野町	6月30日	71歳 男性	アストの100億円達成を目指した取り組みの成果と、今後の取り組みを教えてください。	かつて100億円を達成できていた平成元年当時は米価が2万円と高かったこともあり、現在はなかなかたどりつけないでいる。	（農業活性化本部長） 他の成功事例を見てみると、行政がああしろこうしろと言うよりも、農家の方々がこうしたいと取り組んだことが成功につながっている。100億円という大きな目標を設定しているのは、ある意味で農家の意欲をいかに引き出すかということの取り組みである。農家の皆さんが、これにチャレンジしたいということをアストで様々な支援をしているところ。販売面については本来はJAが中心に取り組んできたところであるが、合併等もあり、行政も支援をして契約栽培をして販売するという取り組みが芽生えてきているところ。	農業活性化本部	アストでは、やる気のある農家に対して広く様々な支援を行ってきました。その中で例えば、たらの芽、ブルーベリー、山ぶどうを中心とした特産品は、平成17年の約400万円から2,400万円に販売額が上がって来ており、少額ながら健闘しています。 花きにおいてもトルコギキョウを中心として約400万円販売額を伸ばしており、リンドウ、菊類等は倍増しています。今後、生産面積の増加を図って行きたいと思います。 野菜類については、品目により伸びないものもありますが契約栽培の推進を図りながら、所得の安定に向け進めています。 今までの取り組みについての検証を行いながら今後の方策について検討していきます。	B1	アスト
68	3-1	小友町	7月2日	65歳 男性	遠野市の農業は高齢者が支えているのが現状。そんな中、小友町では12の集落で中山間直接支払い制度を活用しながら、農道や水路の維持等共同で取り組んでいる。しかし、この制度も本年度が最終年度という話を伺っている。この制度がなくなれば今まで継続して行ってきた地域共同の取り組みができなくなる。事業の継続を国や県に呼び掛けてもらいたい。	継続して実施していかなければならない事業と認識している。市長会などを通じて、国、県へ要望活動を行っていく。また、JAや共済組合等と連携して進めたい。	（農業活性化本部事業推進部長） 継続して国や県へ要望していきたいと考えている。	農業活性化本部	現在の中山間地域等直接支払制度は第2期となっており、今年度で終了となります。 中山間地域等直接支払制度の大きな目的は「中山間地域の耕作放棄地の抑制」があげられ、その効果は十分発揮されております。 農林水産省では次期対策を検討する組織を立ち上げ、制度見直しを検討しており、本年7月14日に「平成22年度以降も、基本的な仕組みを維持しつつ、継続する。」との方針を発表したところですが、引き続き国、県へ要望していきます。	A1	補助事業
69	3-1	宮守町	7月13日	55歳 男性	農機具のリース事業の説明会を聞きに行ったところ、集落ビジョンを持つ団体への補助率が高く、認定農業者個人の場合は補助率が低いなど、団体と個人との取扱の差が大きい。 また、償還期間が8年間の計画で、その間にリース料が払えるようしなければいけないなど、指導も丁寧でない。再度、説明願いたい。	指導のあり方は、親切に対応すべき。説明会を再度開催するよう求める。	（農業活性化本部長） 農機具のリースは、国の補正予算で事業化され、農政事務所から県も市も通さないまま、チラシが配布されたものであり、市では、チラシだけでは不十分であることから、説明会の開催を求めて行われたのが、ご指摘の説明会です。 制度の内容も、個人にとっては使い勝手が悪く、申請期限も7月中となっている。複数人の組み合わせ、組み立てを限られた期限内に調整するには、難しい状況にある。 市としては再度説明会を開催するよう求める。	農業活性化本部	今回、説明会を開催した農機具のリース事業は、制度の内容について国から詳しい説明が無いため、事業の申請受付がはじまっていたことを踏まえ、急ぎ、国の機関である東北農政局の担当者を迎え説明会を開催したものです。 再度の説明会開催については、事業の申請期限が迫っていることから時間的に困難と判断しました。市長と語る会に出席された認定農業者の方々などには、個別に説明及び相談することで対応したところですが、 今後、国などの同様な事業が実施される場合は、農家の皆様に分かりやすい説明会の開催に努めます。	A3	補助事業

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
70	3-1	小友町	7月2日	65歳 男性	食糧自給率の問題もあり、農業問題が大きく取り上げられている。そんな中、各種補助事業が矢継ぎ早に出されてきているが、内容がよく理解できない。事業の紹介も含めて、わたしたちが理解できるような周知をお願いしたい。	国の制度説明については、複雑で分かりにくいと感じている。もっとシンプルで分かりやすく、そして使いやすい制度にすべきではないかと東北農政局の担当者などにも呼び掛けている。	(農業活性化本部事業推進部長) 月2回、遠野テレビを活用して「アスト通信」を放送しているが、今年4月からは月4回に拡大し、内1～2回は補助事業などの制度説明を行っている。これで不十分なときは、地区説明会などを企画し周知に努めていく。	農業活性化本部	国の農業施策は、ご指摘のとおり目まぐるしく次々と新たな対策が打ち出されている状況です。 農業者に分かりやすい制度、手続きの簡素化などについて、機会をとらえ国、県に要望しているところですが、 制度の周知に関しては、内容によって、遠野テレビの活用、地区単位の説明会及び座談会の開催のほか、個別相談や集落単位の説明会の開催など、周知に努め農家の支援につなげていきたいと考えています。	B3	補助事業
71	3-1	綾織町	7月3日	78歳 男性	大綱3活力を創意で築くまちづくりについて。市の主軸産業である農業予算にもかかわらず、他の大綱と比べて予算が少ないのはなぜか。		(経営企画室長) 奨励金などは以前は市の予算を通して流れていた。今は遠野市水田農業地区協議会のような団体を通じて農家へ流れていくなど流れが変わってきている。圃場整備でも市の予算でに計上されるのは例えば1割の市の負担分しか市の予算に計上されない。ハード面の事業が少なくなったというもある。	農業活性化本部	室長のコメントに同じ	A3	補助事業
72	3-1	青笹町	6月19日	55歳 男性	米価が下落している中、国の施策の方向付けを考えると、遠野の欠くことができない水田農業、米作りを確かなものとする必要がある。 会社参入を想定すると、あえて水田農業にこだわるやり方でいいと思う。今あるいい関係のものを、JAを介さない取引があってもいいと思う。将来を考えた取り組みがあってもいいと思う。いわてっこの作付面積を聞きたい。		(農業活性化本部事業推進部長) 津田物産ではいわてっこを推奨して、いわてっこの拡大をお願いされている。農家を回って説明会も開いた。いわてっこは秋田こまちより安い。技術力もまだ進んでいないので収量も上がらないという状況。	農業活性化本部	今年度のいわてっこの作付面積は、約178haで全水稲作付面積(2,012ha)の9%弱となっています。少しずつではありますが作付面積が拡大してきております。しかしながら、出荷量に関しては実需が求める量には足りない状況であります。 最近の米の需要者ニーズとしては、景気の動向から食味が良く低価格な米が求められています。このような状況において、米のバイヤーからは、遠野市のいわてっこの出荷を強く求められている状況であり、米の需要が低迷している状況下において他の産地に比べ非常に恵まれた条件であります。 米の流通の自由度が増している中で、ブランド化していくには、一定の量と質の確保が必要であります。そのためにもJA出荷を基本としながら、生産体制の強化を図るため支援を行っていきます。	B1	水稲
73	3-1	宮守町	7月13日	55歳 男性	しいたけの振興について、コナラの植樹をやってきたが、伐期を迎えている。地元で活用できる方策を。		(農業活性化本部長) 原木しいたけの振興については、支援していく。	農業活性化本部	しいたけの原木確保は重要な問題です。遠野市しいたけ産業推進協議会と連携し、現状を確認しながら活用方策を検討していきます。	C3	しいたけ
74	3-1	宮守町	7月13日	55歳 男性	ワサビの振興を。	ワサビの振興を頑張る。	(農業活性化本部長) 宮守わさびバイオテクノロジー公社を中心に、取り組んでいく。	農業活性化本部	身近な品目としてわさびの知識向上の機会を積極的に啓蒙するものとともに、林間を生かした原料わさびの生産や農家の遊休施設等の活用を促して市場価値の高い花芽生産を普及したいと考えています。 また、市内に於いて松崎地区に適地を2カ所選定しアストの協力の下で林間わさび栽培の実証圃を整備し試験をしています。	A3	わさび

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
75	3-1	青笹町	6月19日	55歳 男性	岩手日報夕刊に緑峰高校の田尻君の記事が出ていた。地域の農業を見つめ、将来を見据えた内容だった。 若い人たちが一人でできないものを、若者による共同化や、機械の操作技術などを習得する仕組みづくりがあるといいと思う。	人材育成、単なる農業の問題だけでなく仕組みづくりを考えたい。緑峰高校が今すごくいい動きをしている。そこに行政がうまくタッグを組めないかと思っている。		農業活性化本部	農業大学校生徒と農家の交流や、遠野郷農業青年クラブと他地域の農業青年クラブと合同の研修、また、国の事業を活用した新規就農者の農業定着に向けた取組みを行っています。 将来を担う若者や新規就農者の技術支援は重要であると認識しており、緑峰高校と連携した取組み方策について現在協議を行っているところです。	B1	担い手
76	3-1	土淵町	6月22日	62歳 女性	電気柵によるシカ対策は簡単だが、直接的な駆除が必要ではないか。シカの個体数を守ろうという国の政策があるかもしれないが、増える一方だ。動物愛護も大切だが、シカやクマのある程度の駆除は必要と感じている。	釜石のシカが遠野側に移り、鱒沢や達曽部にも広がっていると聞いている。 被害が深刻化しているシカ対策については、追加予算措置を検討している。放っておけない状況にあると認識している。	(農業活性化本部長) 昨年のシカの駆除頭数は64頭。この駆除頭数ではぜんぜん足りないのではないかと考える。ただし、駆除する方法が難しい。現在上郷町の佐比内地区に囲いの罾を使って実験しているが、思っているような成果にはつながっていない。さらなる対策を検討する。 クマは昨年10頭を駆除。今年はもう既に10頭駆除している。	農業活性化本部	シカについては、昨年度のシカ捕獲施設にさらに改良を加え、土淵町米通地区において捕獲しているところです。 また、今年度は農家の狩猟免許（わな）の取得を推進するため、猟友会を通じ新たな免許取得を呼びかけています。 そのほか、岩手県知事に対し、シカの被害対策に向け広域的な取組みを要望しています。 なお、電気柵の需要が多いことから、購入補助数を昨年度35基分から今年度130基分まで補正予算で追加措置しています。	B2	鳥獣対策
77	3-1	小友町	7月2日	63歳 男性	シカとクマの被害が多く出ている。電機柵を設置したが、期待したほどの効果が現れない。更なる対策をお願いする。	電気柵の設置については、すでに予算をオーバーしている状態である。現在、追加予算と併せて、駆除の方法についても検討している。	(農業活性化本部事業推進部長) シカに関しては、笛吹牧場に現在 200～300頭ほどいるのを確認している。しかし、この牧場にいるシカに罾をかけて追い払うと、今度は貞任や荒川に移動し、被害が拡大することが予想される。シカを罾や銃で駆除するには限界があるようであり、国のモデルで昨年佐比内地区で、罾を設置してみたが、たった1頭しか捕獲できなかった。 一箇所に留まらせる方法など新たな対策を考えながら、釜石や大船渡など近隣自治体との連携を取って対処していかなければならない課題と認識している。	農業活性化本部	シカについては、昨年度のシカ捕獲施設にさらに改良を加え、土淵町米通地区において捕獲しているところです。 また、今年度は農家の狩猟免許（わな）の取得を推進するため、猟友会を通じ新たな免許取得を呼びかけています。 そのほか、岩手県知事に対し、シカの被害対策に向け広域的な取組みを要望しています。 なお、電気柵の需要が多いことから、購入補助数を昨年度35基分から今年度130基分まで補正予算で追加措置しています。	A1	鳥獣対策
78	3-1	小友町	7月2日	62歳 男性	シカはネットでの対応の方が効果的と聞いている。	ネットの有効性も含めて検討する。		農業活性化本部	動物を侵入させにくくするネットの張り方があるようです。従来どおりにネットを立てたほかに、ネットを地面と平行にして地面から10cm以下の高さで張ると、動物はネットに足を取られるのを嫌がり侵入してこないという情報があります。 今年度土淵町米通地区で取り組むシカ捕獲施設内でネットの有効活用実験を考えています。 有用な情報がありましたら、遠野テレビ「アスト通信」等を通じて周知していきます。	B2	鳥獣対策
79	3-1	附馬牛町	6月26日	73歳 男性	私が知らないだけであったのかもしれないが、豚繁殖・肥育場について、地域説明会はあったのか。また糞尿の処理について分かる範囲で教えていただきたい。	し尿も臭いも一切出さない処理。山の資源(オガクズ)をうまく利用して臭いをシャットアウトする。事業費が13～14億円。13～15人の雇用が見込まれており、地域活性化にもつながる。公害防止協定を結んでおり、垂れ流しは絶対はない。会社の方と話しをしてきた。	(農業活性化本部長) 全農グループの北日本JA株式会社なので信頼はおけると思う。農地転用・公害について、地元の方々と話し合いをして進めてきた。大洞地区に14haの繁殖農場を設置。汚水は浄化施設で浄化し、放流基準をクリアさせて放流する。放流させたものは植物に蒸散させるシステム。そのため放流されたものが沢に入ることはないこととなっている。固形物は堆肥センターに運搬してきて処理をして農家に供給する。飯豊地区に2haの肥育農場を設置。オガ粉を下にひき詰めて発酵させて処理をし、臭いも汚水も固形物も出さない低臭気・無排水システムである。農地転用の許可、公害防止協定の関係もある。その後設置予定なので、詰めの確認をしている。	農業活性化本部	計画については、地元での説明会を開催しながら進めてきました。大洞地区には14haの繁殖農場を建設し、糞尿汚水は浄化施設で浄化し、放流基準を満たし、なおかつ河川放流はおこなわず大気に蒸散させる無排水のシステムです。固形物は施設内で処理、堆肥化して農家に供給します。 また、作業員等が使用する事務所内の水も浄化槽で処理をしたうえ放流します。 飯豊地区には2haの肥育農場を建設。オガ粉を下に敷き詰めて発酵させて堆肥化をする低臭気・無排水処理を採用する計画です。 なお、7月21日に企業側と市との間で公害防止協定を締結して、環境等への配慮について厳格な確認を行っています。	A3	養豚

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
80	3-1 附馬牛町	6月26日	68歳	男性	養豚繁殖農場について、区長会の説明では糞尿処理については分離したものを乾燥させて、施設の中で完全処理をするということだった。堆肥センターに持って行くという話は聞いていなかった。あとから変わったということかもしれないが。	糞尿を一切外に出さない工場の施設で、オガクズの活用もある。たれ流しは一切なく、公害防止協定も締結。新たな雇用の場としても期待。	(農業活性化本部長) 変わったということはないと思う。全農JAグループの会社。今まで話し合いをしながら進めてきた。大洞が繁殖農場で14ha、飯豊が肥育農場で2ha。全体の事業費は14億円ほど。地域住民の先進地視察も会社では考えているとのこと。	農業活性化本部	計画については、地元での説明会を開催しながら進めてきました。区長会での説明会の内容と変更はありません。 大洞地区には14haの繁殖農場を建設し、糞尿汚水は浄化施設で浄化し、放流基準をクリアさせて、なおかつ、河川放流はおこなわず大気に蒸散させる無排水のシステムです。固形物は施設内で処理、堆肥化して地元の農家に供給する計画です。 なお、7月21日に企業側と市との間で公害防止協定を締結して、環境等への配慮について厳格な確認を行っています。	A3	養豚
81	3-1 宮守町	7月13日	60歳	男性	土地改良区は、いつ頃合併するのか。	土地改良区の統合は、合併時の協定項目にもなっており、今、その準備委員会を立ち上げたところ。		農業活性化本部	現在、市内には遠野市土地改良区と宮守村土地改良区があります。 岩手県と岩手県土地改良事業団体連合会が策定した「第8次土地改良区統合整備基本計画」では平成22年度中に合併を進める計画が示されています。 その計画を踏まえ、平成19年10月に合併に関する情報収集及び検討を行う目的で、両改良区から選出した準備委員、関係機関職員で構成した「遠野地域土地改良区合併準備委員会」を立ち上げ、検討を重ねています。 合併準備委員会では「合併準備委員会だより」を発行し、組合員の方々に情報提供が行われました。 市では、スムーズな合併への誘導に努めながら、土地改良区の強固かつ柔軟な体制づくりを支援したいと思います。	A2	改良区
82	3-1 青笹町	6月19日	58歳	男性	昨年のJAの加工所の問題で苦労している。現在は他の市場に行って加工しているが、苦労している。市の支援をお願いしたい。		(農業活性化本部事業推進部長) 本日、JA花巻から前向きな回答をもらってきた。地域活性化経済危機対策臨時交付金とJAの資金を活用しながら、22年産の作物については加工所で加工していくことを考えている。	農業活性化本部	加工所については、市の農業生産、農家所得向上に重要な施設であると考えています。 新たな加工所の建設、運営についてアストが中に入りながらJA花巻や生産者と協議中です。 基本的には、JAが主体となって進めるべきと思いますが、市としても農家の意向が生かせるようアストがリーダーシップを取り、財政的問題も含め積極的な支援を進めていきます。	B1	加工所
83	3-1 上郷町	6月25日	38歳	女性	産直かみごうに携わっているが、釜石方面から内陸に向かう際、トイレがなく困っている人が多いように感じる。 平倉公民館周辺が、トラックの休憩場所としても利用されているようだが、ごみを捨てる人が多く困っている。 道の駅までとはいわないが、トイレ等の整備が必要ではないか。	今年予算を付けて、上郷の産直整備について検討を進めている。できれば、市内のどの産直とも違う上郷ならではの、例えば、子ども、親子、家族をテーマにした産直を考えてほしい。子育て環境づくりにもいい影響を与えるようなものにできれば考える。	(農業活性化本部事業推進部長) 市内に15箇所の産直があり、平成19年度で5億3000万円の売り上げとなっている。 平成19年のオープン前から産直かみごうの整備については議論を重ねてきている。その中で「同じような施設ばかりあっていいのか」という疑問点もあるので、上郷らしい特徴のある施設を整備する方が、将来的にも負担にならないとの意見も伺っている。それらを踏まえ、建物の大きさ、トイレ整備を含めて検討していきたい。	農業活性化本部	市長・部長コメントに同じ (補足として)現在、産直業界は年毎に店舗数が増え生き残り競争が厳しい状況にあります。そんな中で新鮮な野菜、豊富な品数を売り物に消費者から喜んでもらえるように組合員の皆さんの力と活力を結集していかなければならないと考えます。	B1	産直

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

	大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
				年齢	性別							
84	3-1	上郷町	6月25日	66歳	男性	遠野は県内でもカラマツが多く植栽されている。しかし、15年以下の若い木が少なく、継続的・計画的なカラマツの育成を検討すべきと考えるがどうか。	遠野市の80%以上が山林ということで、山の手入れがとても大切になってきている。そのため「里山美林事業」を実施している。	(農業活性化本部事業推進部長) 緊急雇用事業等の中で、山の手入れを行っている。植樹事業もやっているが、ナラ、ブナは行っているが、カラマツはこれまであまり植栽していない。森林組合や林業農家と連携しながら植林事業を考えていきたい。	林業振興室	部長コメントに同じ	B1	林業
85	3-1	附馬牛町	6月26日	39歳	男性	木工団地が機能していないと感じる。活性化が鈍いのではないか。	木工団地で130名の雇用を確保している。売り上げは低迷している状態。遠野北小の改築に際しては木工団地のノウハウを活用しようと思っている。また遠野駅の北側に市営住宅を建設中だが、これも木工団地。仙台市も木に着目した人間に優しい公共施設を作りを目指しており、木工団地と連携を取っていききたいとしている。国がプロジェクトとして学校建設をする時に、木造にしてもらえないかといういるな場所で話している。この前の総理官邸での会議でも公共事業で木材を使ってもらおうよう提案活動を行っている。		林業振興室	市長コメントに同じ 平成17年度に森林総合センターに協同組合森林のくに遠野・協同機構を設置し、木工団地の支援を行ってきました。本年4月からは、国の緊急雇用対策を活用し、協同機構に専任の職員1名を雇用し、団地内事業者の連携強化はもとより、インターネットを活用した情報の発信や、受注機会の創出を図る一方、市内の工務店を訪問し連携を強め、団地の売上増加を図る取り組みを行っています。 今後については、それらの取り組みを更に推進していくとともに、市としても木工団地が林業関係者の組織化や担い手の育成、遠野住宅の普及、商品開発の需要拡大を図る拠点として機能するよう計画に位置づけていきます。	B1	林業
86	3-1	上郷町	6月25日	63歳	男性	美しい水と里山景観を残すということだが、整備より荒廃の方が早いように感じる。市として対策していかないと景観は守れないと感じる。			林業振興室	5月30日に附馬牛町張山地区生活環境保全林内において「第3回いわての森林の感謝祭」が開催され、550名ほどの参加者が下刈り、間伐等の作業を体験し、馬搬、高性能林業機械の実演を見学したことで、山林の手入れの大切さを実感でき、今後の里山整備に関心と理解が得られたと感じます。 里山整備については、今回の感謝祭を更なるきっかけとして、里山美林推進事業の普及啓発をはじめとし、路網整備や計画的な除間伐を景観に配慮しながら進めています。 今後においても、除間伐や路網整備を総合的に推進しながら修景整備も進め、遠野らしい景観形成や野生鳥獣との共生を図りながら、里山美林推進事業を一層進めたいと思います。	B1	林業
87	3-1	土淵町	6月22日	50歳	男性	里山美林事業を3年やってきたが、今までは遠野市としてまとめて申請していたものを、それぞれの実施地域ごとに補助金申請するようになったことによって、小規模の除間伐作業では、県の採択は難しいということで、申請を見合わせる地域が多いようだ。だが、地域としては取り組んだ方がいいということで、自費で取り組んでいる。		(農業活性化本部長) 地域でやりたいという要望があれば、申請方法など支援はできる。 ただし、この事業は3年間の事業が基本で、4年目以降は補助対象外となってしまう。	林業振興室	住民参加による地域活動の一環として「とおの里山美林事業」に5地区で取り組んでいただき、各地区の住民が中心となって森林整備を進めることで、手入れを行った山林への親しみも湧き、引き続き地域活動の場としての活用が期待できるものと考えます。 また、市では5月30日に附馬牛町張山地区生活環境保全林内において「第3回いわての森林の感謝祭」が開催され、550名ほどの参加者が下刈り、間伐等の作業を体験し、馬搬、高性能林業機械の実演を見学したことで、山林の手入れの大切さを実感でき、今後の里山整備に関心と理解が得られたと感じます。 このように、主体的に地域の里山へ足を運び自ら森林整備を体験し、森林の重要性や森林整備の必要性を体感しながら、山林を守るという取り組みは今後も必要です。 今後においても(社)岩手県緑化推進委員会の事業または市単独の事業で、極力地域の要望に沿って検討していきたいと考えています。	A1	林業

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
88	3-1	土淵町	6月22日	57歳 男性	里山美林事業は子どもたちだけでやっている事業ではない。地域の意識付けを行うのが目的であるならば、事業期間が終了したからといって終わるのではなく、継続して助成し、本来の目的を達成させることが大事ではないか。	いい事業は継続し、駄目な事業はすぐにやめることが必要と考えている。 貴重な意見ありがとうございます。		林業振興室	「とおの里山美林推進事業」は住民参加による地域活動の一環として行われ、地域住民が中心となって地域の里山を自らの手で美しく整備することにより、継続的な里山再生の必要の意識付けを図ることなどを目的としています。 主体的に地域の里山へ足を運び自ら森林整備を体験し、森林の重要性や森林整備の必要性を体感しながら、山林を守るという取組みは継続するのが必要でありますので、今後においても地域の要望に沿って検討していきたいと考えています。 ご要望がある場合はご相談いただきたいと思います。	A1	林業
89	3-1	松崎町	6月24日	70歳 男性	来内ダム付近の作業道がなくなり困っている。道路沿いの刈り払いをしてもらえないか。草が生い茂り、売りたいくても売れない人もいる。また道路がきれいになれば若い世代にも自分の土地の境界線を教えやすい。	里山美林計画においても、手入れが必要であると考えている。		林業振興室	具体的な場所を確認しながら、対応等考えていきたいと思ひます。	C2	林業
90	3-2	小友町	7月2日	65歳 男性	高校卒業者の就職者数は、昨年は267人中遠野に残った生徒は30人。今年は270人に対して18人。若い人はみんな遠野から出て行く中で、今回示した計画が本当に実現できるのか。大学進学者は仕事場が遠野にないのでほとんど戻ってこない。若い人の働く場所を確保することが優先事項ではないか。	雇用の場の確保については、専門の担当課長を配置し努力を重ねている。しかし、現在の経済情勢等を見ると厳しい状況であると考えている。結果が出ていないという部分については認めざるを得ないが、受け皿の整備も含めて、今後も努力を重ねる。	(産業振興部長) 新規高卒者の雇用の場については、ご指摘のとおり減っている現状にあるが、今後も努力していく。 再雇用については、平成21年度各種団体等に91名分の雇用の場を確保。離職者の対策については、雇用の場の創出、新たな離職者を出さないための雇用安定助成金制度の設置、資格取得支援など、市から助成金を高上げし1億～1億5000万円規模の予算を確保し取り組んでいる。 企業誘致については、現在の経済情勢ではなかなか進んでいないのが実態。よって、地場産業である農林畜産業と連携を図った就労の場の確保を検討している。	地域連携雇用推進室	若者の働く場の確保は、当市の最重要課題の一つです。この解消策として企業誘致が必要なことから、平成18年度以降専任職員を配置しました。今までに3社を誘致し、現在も4社の誘致に向け折衝を重ねています。 今後も高校卒業者の就職先としてはもとより、大学進学等で遠野を離れた若者が戻ってこられる職場の確保に向け、企業誘致を進めていきます。 企業誘致には高速交通網の整備も欠かせない条件の一つです。幸い東北横断自動車道釜石秋田線の工事も順調に進んでおり、宮守・東和間の進捗率は今年度末で47%の見込みです。遅くとも平成29年度までには東和宮守間が完成する見込みです。宮守・遠野間の整備も順調に進行しており、この完成を見すえた工場団地の整備や支援策の拡充といった企業誘致の受け皿整備も進めていきます。 また、地場産業である農林畜産業での若者の働く場の確保に向けた取り組みについても検討を進めていきます。	A1	雇用対策
91	3-2	上郷町	6月25日	70歳 男性	今回の不況で失業者が300人と聞く。雇用対策について、万全を期していただきたい。	先日聞いた話では、エコカーの買い替えなどにより、関東自動車もかなり持ち直していると聞いた。	(経営企画室長) 昨年12月に緊急雇用対策本部を設置した。また、ハローワーク、遠野県民センター、遠野商工会と市による緊急雇用対策連絡会議を組織し企業訪問やとびあ内に相談窓口を設け、土・日も対応した。また、国の予算を活用しながら100人規模の雇用創出にも取り組み、林業や農業、資格取得への支援など、さまざまな方面に取り組んでいる。 結果としては、80～100人程度の雇用創出につながったが、今後も手を緩めずに取り組んでいきたいと考えている。	地域連携雇用推進室	本年1月に市の臨時職員採用や資格習得支援などのため総額31,000千円の補正予算を計上し、43人の緊急雇用創出を図りました。今年度も当初予算や6月補正予算で総額110,355千円を計上し、89名の雇用創出に努めています。今後も引き続き雇用創出に向けた事業を展開していきます。 また、今後失業期間が長引くことによる生活困窮対策として市税・保育料等の減免を措置を8月から実施しています。	A2	雇用対策

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
92	3-2 宮守町	7月13日	64歳	男性	農林業だけでは大勢の雇用を創り出せない。雇用の創出に向け、工場誘致に対する考えを聞きたい。	企業誘致活動は進めなければならない。景気も底を打ち始め、既に動き出している企業もあると聞く。例えば、市有地の団地化を図るなど、作戦を立てながら対応したい。 宮守地区への誘致について、総合計画後期基本計画にも位置付けたい。		地域連携雇用推進室	新規企業誘致や市内既存企業の工場増設は、雇用の場の創出の効果的な方法のひとつです。そこで製造業、特に宮城県北部から県南部にかけて集積が進む自動車会社の関連企業、機械器具製造業、中心市街地活性化にもつながるIT系企業など、若者が就職するに当たり職場選択の幅を広げられるよう色々な企業の誘致を進めます。なお、自然景観や環境に配慮します。 当市の強固な地震に強い地盤をアピールしたり、当市への立地に有利となる制度を拡充します。（市有地致の工業団地化、高速交通網・高速通信網の整備、人材確保支援など） なお、現在東北横断自動車道釜石秋田線の工事も順調に進み、宮守・東和間の進捗率は平成21年度末で47%の見込みです。遅くとも平成29年度までには東和・宮守間が完成する見込みで、完成すれば宮守地区がより一層工場誘致に有利になることから、宮守地区内で工場誘致候補地の選定等を重ね工場誘致を進めていきます。	B1	雇用対策
93	3-2 松崎町	6月24日	67歳	男性	沼田製瓦工場さんは、遠野・紫波産の土を使って粘土を作成し、その粘土が全国に出荷されている。藤沢町の野焼き祭りにも使われている。この粘土を地元で活用して、遠野の産業として窯業に結び付けることができないか。		（産業振興部長） 会社と協議をしないと分からない。	産業振興課	会社に確認したところ、事業化するためにはコスト低減等の課題があるとのことでしたので、引き続き会社と検討します。	B3	産業振興
94	3-2 青笹町	6月19日	41歳	女性	市内には技術を持った企業がある。遠野独自の技術者を養成したり、研究に支援する仕組みがあってもいいのではないか。		（産業振興部長） ある程度工業系の基礎知識を持った人に入ってきてほしいという企業側からの要望も受けている。残念ながら市内には、工業系の高校がない。そのため現在、工業技術に限定した奨学制度を検討している。	産業振興課	市内製造業者の技術のレベルアップのため、平成20年度に立ち上げた遠野ものづくりネットワークの協力を得て3次元CADの研修を実施したところ。また、平成21年度国の補正予算で措置されたものづくり中小企業製品開発等支援補助金について、市内企業の申請を支援し採択されています。今後も、市の制度は当然ながら、国、県の支援策への申請に対し積極的に支援して行きます。	A1	産業振興
95	3-2 土淵町	6月22日	53歳	男性	まちなかの活性化のため、車の路上駐車ができるよう一方通行区間を設けて、自由にまちなかに入れる工夫が必要と考えるがどうか。		（文化政策部長） バイパスに大型店が進出し、中心市街地が寂れてきている。これは、全国的にも同じような事例が多くみられ、遠野市だけの悩みではない。昔のようにぎわいを取り戻すため、中心市街地活性化基本計画を作り、今年3月に国の認定を受けた。この計画により、JAビルの改修や観光交流センターの整備など、駅周辺の整備をまず行う。このような魅力あるまちづくりを5カ年計画で行う。 また、ハード整備だけでなく、「町家のひなまつり」のようなソフト事業の充実も合わせて行っていくことを検討している。 駐車スペースの問題については、道路の片側駐車帯設置の提案もある。地元商店街の人たちと話し合いを進めながら検討する。	文化まちづくり推進室	中心市街地の活性化を強力に推進するため、遠野市中心市街地活性化協議会など多くの市民の考えを結集し、中心市街地活性化基本計画を策定、本年3月に内閣総理大臣から認定を受けました。本年4月1日から平成26年3月31日までの5年間で実施する計画です。 主要事業として、駅前を情報発信エリア、商業拠点として整備（観光交流センターや駐車場の整備、旧JAビルを商業の拠点として整備）、昔話村周辺を観光エリアとして整備（町家や蔵の復元、博物館や昔話村のリニューアル）、上一日市にイベント広場（宇迦神社側）の整備等を予定しています。 また、上記ハード整備に併せて各種ソフト事業も展開し、商店街への回遊を促し、まちなかの活性化を図る計画です。 なお、路上駐車については、釜石市などの実例を参考にしながら、地元商店街と話し合い検討を進めていきます。	C2	商業振興

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
96	3-3	松崎町	6月24日	67歳 男性	高清水展望台前の木々が生い茂り、眺望の邪魔になっている。木の伐採となれば自然環境への影響、所有者等の問題もあるだろうが、今より悪くならないように何らかの手入れをしてもらえないか。 トオヌップ展望台のあった場所今は眺望がきかない。今の展望台よりも良かったと思っている。		(産業振興部長) 高清水展望台の眺望の件については、他からも要望があった。問題は木の所有者が市なのか個人なのか県行造林なのか分からないこと。調べてみて解決できるものであれば、解決したい。 トオヌップの展望台については手がつけられない状況にある。	観光交流課	支障となる樹木は確認しています。高清水展望台の周りの土地は個人の所有地になっておりますが、今後、所有者と協議を行い、眺望が未永く確保できるよう対応したいと思います。 なお、トオヌップ展望台については、現在、高清水展望台があることから、閉鎖しておりますのでご了承願います。	B2	観光施設
97	3-3	松崎町	6月24日	62歳 男性	カッパ淵について昔にくらべてだいぶ浅いようだが市の考えを聞かせてほしい。		(産業振興部長) 昔は深かったが、雨が降ったりして土砂が深い箇所に溜まり浅くなった。前に除去作業をしたが、すぐに溜まってしまう。水深については工夫できないか考えている。なお、整備に関しては「蓮池川を考える会」と連携をとりながら、水深に限らず話し合いを進めていきたい。	観光交流課	部長コメントに同じ	C2	観光施設
98	3-3	土淵町	6月22日	54歳 男性	恋人の聖地を活用した出会いの場の創出について、具体的にどのようなことを考えているのか。	これは宮守町の「めがね橋」が恋人の聖地として認定されたもの。これは静岡にあるNPO法人が全国で行っている制度で、高校生などを中心にめがね橋を選定した。現在、ライトアップに太陽光発電が使えないかとか、列車が通る時刻を知らせたり、ベンチを更新したりなど、宮守総合支所を中心に地域の人たちと検討を進めている。mm1では「かっぱ饅頭」を発売したり、PR活動を積極的に行っている。		地域振興課	本年4月1日にNPO法人地域活性化支援センターから「宮守川橋梁（めがね橋）」を「恋人の聖地」として認定されました。そこで、遠野市の西の玄関口として地域振興や観光振興の観点から、「めがね橋周辺環境整備検討会」を立ち上げ、段階を踏んで整備しようと、最初に周辺の立木の除間伐を行い、モニュメントへの案内板表示やベンチを設置しました。今後とも地域住民の声を集約しながら整備を進めていく予定です。また、「出会いの場の創出」の観点から、めがね橋直売所、mm1と協議しながら若者を対象としたソフト面の演出を新たに開発したいと考えています。	A2	観光施設
99	3-3	上郷町	6月25日	63歳 男性	市民協働という形でさまざまな事業を行っているが、市の中心部と中心部以外では住民力が違う。例えば田舎に興味のある大学生を中心部以外の地域に迎え入れる仕組みをつくってはどうか。交流することにより地域に活力も生まれる。 また、地域リーダーの育成に力を入れてほしい。	松崎町光興寺宮代地区の取り組み事例もある。このような成功事例を参考に、NPOなどを含めて、官民あげて取り組んでいくことが大切だと感じている。		ふるさと定住推進室	大学生等の地域体験実習の需要が増加傾向にあるため、松崎町光興寺宮代地区の事例などから、遠野民泊協会と連携した受け入れ地域の拡大を行っています。 受け入れは、歴史・伝統文化など地域の特色やそれを説明できる人材が不可欠であり、今後、地区センター・ツーリズム実践団体と連携した、地域の資源活用・リーダー育成研修の呼びかけを、積極的に行なっていきます。	B1	交流
100	3-3	松崎町	6月24日	51歳 男性	市からの空き家情報がほしい。遠くから来た人への住宅情報はあつたが、地元向け、Uターン組向けの情報が少ない。雇用促進住宅に住んでいるが、いずれ出なければならず住宅をさがしている。自分たちで探すには限界がある。不動産は立派な物件しかない。			ふるさと定住推進室	市では、不動産業者や行政区長等から得た情報を基に、定住・移住の希望があり住居にお困りの方に対して情報提供を行っています。市内在住の方であっても、お困りの方はご相談いただきたいと思います。	A3	交流

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
101	3-3	松崎町	6月24日	63歳 女性	臨海学校に遠野の子供たちが陸前高田に行っている。逆に遠野に来させる工夫が必要ではないか。	釜石、住田とも連携を取っていかなければならない。また、昨年宮守小学校の児童が農山漁村プロジェクトで糠森家に宿泊した。今後の検討事項。		ふるさと定住推進室	当市は、農林水産省、文部科学省、総務省の三省合同プロジェクト「子ども農山漁村交流プロジェクト」の先導型モデル地域に選定されています。 また、旧大出小中学校を市内外の小中学生等の交流体験施設として利活用する方向で実証事業を進めています。 今後、先導型モデル地域の強みを生かし、岩手県や近隣市町村と連携して、都市と農村、海と山などの広域的な交流を視野に入れ、旧大出小中学校等の地域資源を活用し、遠野に来ていただけるような施策を展開して行きます。	B1	交流
102	3-3	遠野町	6月30日	56歳 男性	遠野まつりが新しくなり、門付けをどうするのだろうという声もある。これまでは気にせず出していたが、今年はまちなかだけの開催。経済が落ち込んでいる中、花巻まつりのように、実行委員会で寄附を集約し各団体に配分する方法にできないのか。			観光交流課	遠野まつり実行委員会では、門付けについて、人と人の繋がりや永年遠野に根付いてきた風習でもあることから、商店街や各団体の自主性に任せることが良いと思っておりますが、今後、どうあるべきかを実行委員会等で検討します。	C3	まつり
103	4-1	青笹町	6月19日	66歳 女性	総合食育センターは、どのような整備を考えているのか。市内には、たくさんの農地がある。野菜を提供するグループなど、チーム単位で食育を推進する取り組みできないか。 地産地消のネットワーク、規格外の野菜の取り扱いを認めてほしい。	総合食育センターについては、場所は松崎町の現在地を予定している。食育法も制定されている。少子化の中で児童生徒が減っていく。もう一方で高齢化の中で福祉施設のニーズが増えてくる。その中で何かマッチできるものがないかということで企画化したもの。しかし、前例がないプロジェクトであるので、検討に行ったり来たりしている部分もある。農水省も文科省も非常に興味を持ってきているので、何とか国の財源を引き出し、少しでも市の負担が無いような形で総合食育センターという位置づけで、できれば専用農場的なものも整備できればと思っている。安定的に供給できるようなシステムをつくって、食育という中から心身ともに健康、食べ物から健康づくりという拠点に持っていけないかと考えている。	(施設整備担当部長) 学校児童生徒が減少している中、学校給食以外の活用も検討しているところ。福祉施設への供給も考えている。地産地消を高めるために、予冷の方法、ネットワーク等のシステム構築が求められていると認識している。センター側と農家側との話し合いを持ちながら、規格外の野菜の取り扱いを含め、地産地消の割合を高める活動をしたい。H22年度設計、H23年度末には施設を完成したいというスケジュールで進めている。	都市計画課	市長コメント・部長コメントに同じ	A1	食育センター
104	4-1	松崎町	6月24日	61歳 男性	食育センターの今後の予定は。	旧遠野市、旧宮守村の給食センターも老朽化しており、また食育を進めるための拠点として新しい施設が必要。地産地消、また地場産品を使うことによって地域経済の活性化を図る。財政的な課題があり、少し遅れている。	(施設整備担当部長) H23年度中には完成させたい。	都市計画課	市長コメント・部長コメントに同じ	A1	食育センター
105	4-1	小友町	7月2日	73歳 男性	中学校の統合問題について、市長としての考えを伺いたい。	6月定例議会の中で、市議会特別委員会から最終報告をいただいた。報告書には「学校再編は避けて通れない問題であるが、市民と合意形成を図りながら、より慎重に進めていただきたい」との意見をいただいた。 小友地区においては署名活動も行われており、小友町民の中学校に対する思いをきちんと受け止めなければならないと感じている。 再編成の在り方も含めて、市民との合意形成を図るための努力が必要であると承知している。先日も教育委員会とは話し合いを持ち、もう少し時間をかけて関係者らと議論すべきとしている。 「子どもたちにとってどういう教育環境が望ましいのか」を基本に据えながら、また地域の活力を維持するための中学校の役割なども含めて、話し合っていきたいと考えている。一層の協力をお願いする。		教務課		E	中学校再編

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
106	4-1	土淵町	6月22日	54歳 男性	<p>中学校再編のあるべき姿について、市長として考えを聞かせてほしい。</p>	<p>学校再編については、教育長が中心となって各地区で説明会を行ってきた。この説明会では、検討会で示された3校案について説明したもの。この再編計画については、市議会でも特別委員会を設置して調査を行い、先日の6月定例議会の場で最終報告をいただいた。</p> <p>学校再編の一番のねらいは、子どもたちの教育にとってどのような環境がふさわしいか。学校に対する地域の思いもあるので、地域住民との合意形成を図りながら慎重な判断が必要であると考えている。</p> <p>小友、附馬牛地区で反対署名が多く集まっていることは承知しているが、「学校再編はやむを得ない」ということでの理解はいただいていると伺っている。もう少し慎重に議論してほしいという意味での署名であるとも聞いている。</p> <p>今度の9月議会において、学校再編に係る条例案を提出するスケジュールであったようだが、もう少し議論を重ねなければならないと感じている。</p>	<p>（教育長） 子どもたちの教育環境をつくるためには、学力向上と学校再編が大きな課題であると考えている。 今回の学校再編について、市民との議論を慎重に進め、再度協力を求めていく。</p>	教務課		E	中学校再編
107	4-1	小友町	7月2日	62歳 男性	<p>中学校再編についてだが、平成23年4月の再編ということで説明を受けてきたが、本当に23年の再編となるのか。</p>	<p>平成23年の再編は、現時点では難しくなっている。冷静な議論が必要である。</p>		教務課	<p>中学校再編成計画案で提示した再編成時期の平成23年4月1日は、中学校再編成検討委員会の答申による「速やかに再編成を進めること」を前提に、平成21年3月に計画を決定、再編成に伴う具体的な事項を決める期間として、再編成事例や先進事例研修等により2年間の準備期間が必要と判断のうえ示したものです。</p> <p>しかしながら、平成21年1月9日に市議会に中学校再編成調査特別委員会が設置され、6月11日に調査の最終報告を受けたところであり、教育委員会では、この最終報告を尊重する基本姿勢に立って、再編成計画をまとめていくこととなりますが、すでに平成23年4月1日までの期間が2年間を切っていることから、現時点では、平成23年4月1日からの実施は難しく、見直しが必要と考えています。</p>	A3	中学校再編
108	4-1	上郷町	6月25日	66歳 男性	<p>大断面集成材パネルが作られているが、市内の中学校では遠野中学校だけが木造ではない。遠野中学校の木造での改築も含めて、新たな角度から議論してはどうか。</p>		<p>（環境整備部長） 学校の整備は、木造化を基本に進めていく。その他、公共施設にはペレットボイラーなどを設置し、木材消費に努めていきたい。</p> <p>（教育長） 校舎の改築については、地域の希望に配慮しながら整備してきた。遠野中学校においても木造校舎を基本的な考え方として持っている。 遠野中学校の校舎を早く改築したいとは思っているが、再編成の問題を踏まえたくえで進めていく。</p>	教務課	<p>市内の中学校では、遠野中、小友中及び宮守中がRC造となっています。校舎の改築にあたっては、昭和61年の綾織中学校以降、木造校舎を基本に改築を行っており、老朽化が進んでいる遠野中学校の改築についても、木造を基本的な考えとしています。</p> <p>その他に、机や椅子等の木質化、熱源としてのペレット等の木質バイオマスの導入、太陽光発電システムの整備など、やさしい環境に配慮した学習環境の整備を進めています。</p>	B1	中学校再編

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
109	4-1 附馬牛町	6月26日	36歳	女性	<p>初の地区・中学校合同運動会は大盛況であった。今まで見たことのない人も来てくれた。地域における学校の必要性を再認識した。学校というものがあるから人が集まるし、連携も取りやすいと思う。中学校再編の今後の見通しについて市長の考えを聞かせてほしい。</p>	<p>各方面から27名の委員で構成する検討会を組織し、3校案を提示した。市議会による特別委員会が設置され、調査が進められた。地域の意向を踏えての最終報告書が6月議会で報告され、私もその内容を読ませてもらっている。地域によって温度差があり計画案についても、もっと慎重にならなくてはならないのではないかと、といった内容であった。今年の9月議会へ条例案を出そうと思っていたが、もう少し時間をかけて検討していかなければと思っている。来週、教育長、教育委員、部課長との懇談も予定している。</p> <p>小友地域は宮守中学校ということになっているが、このことに関して小友住民の9割以上の署名があった。再編そのものは避けておれないが合併については慎重になっていただきたい、とのことだった。</p> <p>小友・附馬牛・土淵の一部の地区から約3,000名の署名があり、非常に重く受け止めている。少子化の流れ、子供たちにとってより良い学習環境の構築について考えながら着地点を見つけていきたい。</p> <p>町民運動会は良かったと思う。地区と中学校の運動会を同時にする附馬牛方式、午前中は中学校の運動会、午後は地区の運動会とする小友方式が今後の市内の運動会に影響を与えるかもしれない。町民運動会も見直しの時期。</p>		教務課		E	中学校再編
110	4-1 遠野町	6月30日	65歳	男性	<p>緑の羽根の募金の会計を見ると、毎年30万～40万円余している。そのお金を、各小中学校の桜のテングス病対策に充てたらどうか。</p>	<p>いろんな財源は確かにある。かなり手入れはしているつもりだが、学校の桜も心配だという声もある。</p> <p>緑の羽根と環境税とを一つにしたらと県の会議で発言したことある。市町村や団体がもっと有効に活用できる仕組みづくりが必要。</p>	<p>（教育長）</p> <p>学校の樹木については、できるだけ見栄えを整えていきたいと思っている。学校用務員も剪定の講習会を受講しながら、共同で計画を立てて学校の樹木の整備をしているが、なかなか追いついていない部分もある。内部での対応ができない場合には、シルバー人材センターなり専門家の協力なり依頼をしながら取り組んでいきたい。</p>	教務課	<p>小中学校の樹木については、各学校からの報告に基づいて、計画的に剪定・枝払いなどを業者発注、軽微なものは用務員が対処しています。</p> <p>ご意見のありましたテングス病についても発生している樹木の調査を行っており、落葉後の秋の時期に剪定を行う計画で進めています。</p>	B2	学校環境
111	4-1 綾織町	7月3日	68歳	男性	<p>綾織小学校は9月から着工できるのか。</p>	<p>馬搬の木出し等を児童や地域の人々に見せたいと考えている。</p>	<p>（環境整備部長）</p> <p>遅くとも9月には契約案件について議会に提案したい。国の景気対策も合わせて実行し、いい学校造りに努めたい。</p>	教務課	<p>綾織小学校の改築については、夢拓く綾織小学校を創る会との協議のもと、実施設計を完成しました。</p> <p>改築工事の工程については、平成21年3月24日の地域説明会に提示した工程案のとおり、9月契約（建築工事は9月議会の契約案件）、10月工事着手で事業を進めています。</p> <p>また、改築にあたっては、児童が伐採（市有林活用、馬による搬出）から加工（木工団地）建築までの学校校舎が完成する過程に直接関わる計画を立案、実行し、児童が環境問題、地産地消、郷土歴史の理解を深める生きた教育を推進する方針としています。学校との協議により、今年度は、9月に森林学習、10月に馬搬作業見学、翌年2月に木工団地での木材加工見学を行う予定としております。</p>	A1	学校環境

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
112	4-1	綾織町	7月3日	68歳 男性	高校が定員割れしている。再度募集も定員割れ。市内中学校卒業生280人中80人が市外高校へ。小中学校への教育も分かるが、小中高の一貫教育を考えていかなければならないのではないか。その土地の教育の在り方を見て定住する方もいるので、定住にも影響を及ぼす問題と考える。	病院の再編だけでなく、今度は高校の再編問題が間違いなく来る。	(教育長) 市内に工業系以外の学科はあるので、高校教育のある程度の希望には応えられる状況にあると思う。今年の卒業生のうち80人が市外へ、遠野高校にはサッカーや剣道などで市外からは31人が入っている。 各中学校への説明会を例年であれば11月にしていたが、今年は7月に予定している。定員確保のために努めている。校長にも呼びかけているので、皆さんからも呼びかけしていただきたい。学校側からは入学していただければ希望にあった大学、専門学校等に入れるように支援するという意気込みがある。教育委員会としても頑張っていく。	学校教育課	教育長コメントに同じ (補足として)7月7日～16日にかけて市内全中学校で、遠野高校及び遠野緑峰高校の校長による生徒・保護者を対象とした高校説明を実施しました。 また、7月17日(金)には、岩手県教育委員会教育長あて「平成22年度岩手県立遠野高等学校募集定員の維持について」の要望書を提出しました。 市と中学校と両高校の一体的な連携の取組みを通して、市内高校への受験者の増加を目指していきます。	A3	高校定数
113	4-1	青笹町	6月19日	41歳 女性	高校も統合される日が近い。現在は、市外の学校へ進学を目指す人もいる。逆に、遠野の高校のこの部分を学びたいと思われるように、魅力ある学科づくりに取り組んだらいいと思う。	釜石や花巻など市外の高校に入っている生徒が80人いるという。そのうちの半分が地元の高校に入ってもらえるようになれば、再編の流れには歯止めがかけられる。しかし、これはどこで教育を受けたいかは生徒や親が決めること。やはり、学校に魅力を持ってもらわないと思っている。	(教育次長) 緑峰高校は市内の中学生には人気があり概ね定員を満たしているが、遠野高校の新入学生徒は定員を満たしていき心配している状況にある。遠野高校は、進学校で、就職の面倒を見みてくれないという噂や思い込みもあるようだ。そうしたことから、遠野高校では、今年は7月から中学校にも入って学校のPR活動を進めるという話もしていた。	学校教育課	例年であれば11月に行っていた高校説明会を、今年は7月7日～16日にかけて市内全中学校で実施しました。遠野高校及び遠野緑峰高校の校長による生徒・保護者を対象とした説明で、両校に魅力を感じたと感想を述べる保護者の声を多く聞いたところです。市と中学校と両高校の一体的な連携の強化を図りながら、魅力ある学校づくりを支援していきます。	A3	高校定数
114	4-2	遠野町	6月30日	71歳 男性	みやもりホールは、巡回バスを運行するなど、遠野からの足の確保をすれば、もっと活用が増えるのではないかと。	宮守ホールの足の確保については、立ち上げ時から課題である。ぜひ検討したい。	(宮守総合支所長) 駐車場は整備しているところであるが、必ずしも列車の時間が合わないとか、車でこれない方もいる。バスの手配ができるかどうか主催者とも検討をしていきたいと思う。	地域振興課	みやもりホールでの催事は、開催形態も参集対象者や内容など多種に及んでいます。催事の趣旨によってはバスの運行など公平性を欠くことがないよう注視しながら主催者とも検討していきます。	C2	生涯学習
115	4-2	青笹町	6月19日	41歳 女性	今年度から週2回、放課後子供教室を開催してもらい、とてもありがたいと思っているが、もう少し内容を充実させてもらえると親としてうれしい。1～6年生まで幅広い年齢を一人に対応している状況で、大変であると思う。予算的なものが問題であれば、親の一部負担があってもいいと思う。	子供の成長に応じて充実させようと様々取り組んでいる。わらすこ基金には4月から6月までで800万円寄せられた。貴重な財源をどのように活用するか、今後検討していきたいと思っている。		社会教育課	家庭学習の定着を目的に、教室参加児童の状況に応じ学習アドバイザー・安全管理員を置き、子どもの自主学習をサポートしています。 現在11小学校の生徒を対象に各小学校ごとに、週2回、1回当たり2時間程度で実施していますが、今後、日数の増等内容の充実を検討していきたいと思っています。	C2	生涯学習
116	4-3	附馬牛町	6月26日	69歳 男性	遠野遺産認定制度に助成があるのか。	(副市長) ある。活動に対しての応分の負担をする制度となっている。 (市長) 市民協働の中から行政とタッグを組んで対応していただきたい。		文化課	遠野遺産の保全・活用に対しては、みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金の中で助成を行っています。認定後申請を頂き、みんなで築くふるさと遠野推進事業審査委員会で採択されると、10分の9以内の補助率で最大80万円を補助しています。 平成21年度には、上郷町の赤羽根稲荷神社、附馬牛町の菅原神社などで社殿の補修や参道整備に対して補助しています。修繕などをお考えの場合は地区センター又は文化課までご相談ください。	A1	遠野遺産

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
117	4-3 遠野町	6月30日	56歳	男性	遠野遺産に認定された物件が老朽化した場合、その修繕や補修に対する補助はあるのか。		(文化政策部長) 遠野遺産の名前も聞き慣れてきたかと思う。修繕などの経費は、上限があるが、80万円の範囲内で補助金が出る。1割は地元負担ということになっている。それを活用して直していただくことになる。 みんなの宝物を守るという制度。ぜひ活用いただきたい。実際に申請したいという場合には、担当まで相談していただければと思う。窓口は文化課になっています。	文化課	遠野遺産の保全・活用に対しては、みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金の中で助成を行っています。認定後申請を頂き、みんなで築くふるさと遠野推進事業審査委員会で採択されると、10分の9以内の補助率で最大80万円を補助しています。 平成21年度には、上郷町の赤羽根稲荷神社、附馬牛町の菅原神社などで社殿の補修や参道整備に対して補助しています。修繕などをお考えの場合は地区センター又は文化課までご相談ください。	A1	遠野遺産
118	4-3 小友町	7月2日	62歳	男性	市内の巨木の保護・保全について要望する。	遠野遺産制度において、市内に現存する巨木を調査し、データベース化する計画を進めている。巨木の保護・保全につなげ、取り組んでいきたい。		文化課	これまで実施してきた調査成果を基に、巨木や名木43件について県・市指定天然記念物指定を進め保護してきたところです。平成19年度からは、遠野遺産認定制度を立ち上げ、市民の推薦を通じて巨木・名木の遠野遺産認定を進め現在まで8件ほど（範囲認定も含めればそれ以上）の樹木を遠野遺産に認定して、市民協働で保護に努めています。今後は、森林総合センターなどの関係部署とも連携して、データを整理し、巨木の保護を進めていきたい。	A1	遠野遺産
119	4-3 宮守町	7月13日	57歳	男性	遠野遺産認定条例を進める上で、景観についても厳しくやっていただきたい。	遠野遺産は、市内80箇所。地域興しとして、高い評価をいただいている。一方、景観をどうするか。例えば、めがね橋、mm1、恋人の聖地など、内容を充実させるためには、周囲の景観保持が大事。 景観条例の条例化も検討の時期を迎えており、改めて相談したい。		文化課	市内の景観を守っていくことは大事なことです。そのため、平成19年度に遠野遺産認定制度を立ち上げ、地域資源・文化の掘り起こし、そして次世代に守り伝えていくべき遠野の宝を住民と行政が協働して保護、活用しているところです。 また、景観を守るために、荒川高原牧場のような文化的景観の取り組みもあります。文化的景観とは、人々の生活や生業または自然風土の中で、長年かけてかたちづくられてきた風景をいいます。かつては、日本の各地の農村、漁村などには、その土地ごとの豊かな文化的景観が広がっていましたが、近年では、このような地域の景観は姿を消しつつあります。 当市においては、荒川高原牧場が、平成20年3月に国の文化的景観に選定され保存計画を作成し保護しています。現在は、土淵町山口集落の調査を行いつつ、その保護の在り方を検討しているところです。	A1	遠野遺産
120	4-3 綾織町	7月3日	65歳	男性	3区にも神楽があり、存続に向けて努力しているがなかなか後継者が見つからず困っている。その地域だけで存続するのは難しい。部落、地区を超えた範囲で後継者問題を解決することはできないか悩んでいる。	今年度、文化政策部を立ち上げて郷土芸能を含めて守り育てるような環境作りに努めている。 (文化政策部長へ)郷土芸能団体の方々は余裕がない。文化政策部がコーディネートするのが仕事ではないか。	(文化政策部長) 神楽だけでなく、しし踊り、田植え踊りなどの郷土芸能も共通した後継者問題を抱えている。農業・商業などの収入のある職業でさえ後継者がいない。ましてや収入と関係のない郷土芸能は仕方ないとは思いたくない。何とかしたいと思い、衣装・道具などに幾らかの補助をしたり、これまでも記録・保存に努めており、これからも努めていくので、何かご相談があれば文化課に問い合わせしてほしい。 師匠・弟子のカテゴリーの中で教えたり教えられたり、他団体との連絡を普段から密にしてみてもどうか。これまでも師匠・弟子間での人事交流的なことはこれまでもあった。遠野ならではの文化をなんとかして維持していかなければならない。 また、遠野ならではの文化にあこがれて移住してきている人もいる。外からの来た人が主軸となってやっている団体もある。他の地区と協力したり、新しく入ってきた人に勧誘してみたり、インターネットでの募集などしてみてもどうか。	文化課	市内の郷土芸能団体は、神楽に限らず後継者の育成に関して同様の問題を抱えているのが現状です。学校教育との連携や地域を越えての人材確保、系統を同じくする保存団体同士の協力など、様々な取り組みもなされおり、その相談にも応じています。 郷土芸能は遠野市の守らなければならない大切な文化財ですし、地域の歴史の中で育まれて伝統文化です。この大切な宝を地域全体で守っていけるよう地域づくり連絡協議会や自治会などでの地域ぐるみの支援も大切です。 市としても各郷土芸能団体の協議会等と連携しながら後継者問題に取り組んでいきます。用具の整備や記録保存などを行う場合には、補助制度もありますので、文化課にご相談ください。	B3	遠野遺産

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
121	4-3	上郷町	6月25日	66歳 男性	田や畑など、比較的平らな部分と斜面とをどう産業に活かすのか。例えば草地として開発されてきた貞任牧場には風力発電があるが、荒川高原などには造ってほしくはない。文化的景観として指定されていることも考え、将来的な景観をどう保護していこうと考えているのか。	荒川高原が文化的景観として選定され、次に山口のデンデラ野も文化的景観の選定に向けて調査を行っている。	(農業活性化本部事業推進部長) 荒川高原への風力発電施設整備は、必要ないと考え。市営牧場でもあり、現在は草地開発を検討している。 (文化政策部長) 荒川高原、荒川駒形神社が国の文化的景観に選定されている。現在は、土淵町の山口地区を選定候補地として調査活動を行っている。また、五百羅漢周辺やその他についてもまだまだ候補地となりうる場所が存在する。	文化課	市内の景観を守っていく施策として一つは、荒川高原牧場のような文化的景観の取り組みがあります。文化的景観とは、人々の生活や生業または自然風土の中で、長年かけてかたちづくられてきた風景をいいます。かつては、日本の各地の農村、漁村などには、その土地ごとの豊かな文化的景観が広がっていましたが、近年では、このような地域の景観は姿を消しつつあります。当市においては、荒川高原牧場が、平成20年3月に国の文化的景観に選定され保存計画を作成し保護しています。現在は、土淵町山口集落の調査を行いつつ、その保護の在り方を検討しているところです。また、平成19年度に遠野遺産認定制度を立ち上げましたが、今後ともこの制度を生かして、地域資源や文化の掘り起こしを行い、次世代に守り伝えていくべき遠野の宝として住民と行政が協働して保護、活用を図って行きます。	A1	遠野遺産
122	5-1	綾織町	7月3日	73歳 男性	地域づくり推進事業(ボランティア)の報告書を提出するよう言われているが、今年は特にきびしくなった気がする。これまでと同じにしてほしい。また屋根補修などを業者に頼んだが、丸投げしていると言われた。地域でやれることはやっている。その分まで丸投げと言われると地域としてやりづらい。地域が取り組みやすくなるよう改善してほしい。		(経営企画室長) 行政だけではできない問題。役所だけの理論では答えることができないものなので、持ち帰って検討する。	地域生活課	みんなで築くふるさと遠野推進事業は、市民が自ら考え・行動する取組みを支援し、市民と行政の協働を推進することを目的としています。地域づくり団体が、地域の特性を活かし創意と工夫をこらした特色ある地域づくりの推進や課題解決に対する事業に予算の範囲内で補助する事業であります。 地域づくり団体が使いやすいように制度の見直しを図りながら支援を行っており、最近では、平成19年度にハード事業を、今年度は業者発注型の事業も新たに補助対象(補助率50%)に加えたところです。 地域住民の協力があってこそ成立つ事業ですので、地域が取り組みやすい環境づくりに十分留意します。	A3	市民協働
123	5-1	綾織町	7月3日	73歳 男性	河川清掃の報告について、もっと合理的にならないのか。去年までのように何人出席したか等であれば良いが、何mやったかや写真添付などきめ細かく報告することになっている。そこまでする必要はあるのか。		(経営企画室長) 河川清掃等について県の補助をもらってやっている。その申請事務に必要なのかもしれない。持ち帰って調べてみる。	地域生活課	河川清掃は、市民にボランティアでお願いしていますが、県から補助金をいただいている関係上、実績報告のために写真や実働人数の把握が必要です。今後は、地区センター職員が中心に調査・情報収集に当たることにします。	A3	市民協働
124	5-1	宮守町	7月13日	63歳 男性	河川管理の関係について、宮守川で、行政区が管理(草刈り)している箇所と放置されている箇所がある。同じ河川は同じように管理して欲しい。	合併前から一斉河川清掃が行われている。河川管理上、住民が入ると危険な箇所は、行政で管理する必要がある。	(宮守総合支所長) 実態を確認し、担当機関や地元と話をするなど、対応したい。	地域生活課	一斉河川清掃は、行政区内の環境整備を図るためにボランティアでお願いしています。指摘いただいた箇所は、護岸工事がされ高低差が大きい場所であり、住民の作業では危険なので以前にも業者委託で草刈りした経緯があります。 遠野土木センターに確認したところ、両岸とも積みブロック護岸で出入り困難な場所なので、昇降用階段(ステップ)を所々に設置する予定であり、草刈等の管理は引続きお願いしたいとのことでした。なお、点在する支障木は、草刈り後に県で除去する旨の回答をいただいています。	C3	市民協働

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
125	5-2	小友町	7月2日	62歳 男性	人的活性化が必要。県・市職員や第3セクター職員については、いくら優秀な職員でも定年を迎えたら再雇用や天下りを認めずに新しい人を採用すべきと考える。	市は定年制（60歳）と勤奨制度も設けている。現在は定員管理計画の下に、退職者の3分の1補充を基本とした新規採用を行っており、合併時の459人から、現在は409人の職員数となっている。 新規採用については、市だけではなく社会福祉協議会、保育協会、森林組合など関係機関への協力も求めている。		総務課	退職者の再就職については、各団体からの要請に対し退職職員の情報を提供する場合もありますが、雇用については、各団体の判断によるものです。また、人口規模に合った定員管理計画を策定し、基本的に定年退職者の3分の1補充を実施しながら、年齢構造の平準化や人的活性化を図っています。	D	行財政基盤
126	5-2	青笹町	6月19日	62歳 男性	経済不況の中、県の税収も激減する見込みである。市職員や三役、議員の報酬を、世の中の水準に合わせて減額するのか。 また、40代の平均賃金を教えてほしい。	3万人台に人口が減ってきているので、409人という職員数は多い。3分の1補充という中で削減してきた。カット、カットと言い過ぎると働かない職員も出てくる。どう意欲を持たせるかという問題もある。	(経営企画室長) 税収は現在決算中であるが、25億円ある。これは市の全体の収入の25%。70%は地方交付税でまかなわれている。 人件費の年齢別の数字は持っていないが、国家公務員を100とした場合、遠野市の職員の賃金レベルは94%。6ポイント低い給与水準である。世界同時不況の中、6月の議会で手当てを0.2下げた。人件費をどうするのかという視点で考えている。21年4月の職員409人。前倒しで削減進んでいる。計画より1億円人件費は下回っている状況。	総務課	公務員の給与は、人事院勧告制度に基づいて決定されるシステムとなっております。人事院は民間企業の実態を調査し、公務員の給与が高いかどうか判断し、勧告します。特別職の給与についても一般職に準じて改定されます。職員の給料については、毎年広報で公表しており、平成20年度では、平均年齢42.11歳で平均給料月額が33万207円となっております。	D	行財政基盤
127	5-2	上郷町	6月25日	70歳 男性	後期高齢者の保険料が年金からの引き落としとなっており、納税貯蓄組合の補助の対象とならない。これらにより補助が減らされると、組合に入っている意味がないと考え脱退する人が増える。納税貯蓄組合は「納税」の大切さを伝える役割もある団体と考えている。集会の場などでの市長からの激励をいただきたい。			税務課	平成20年度より、後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税の公的年金からの特別徴収制度、いわゆる年金天引きが始まっています。 しかし、年金受給者から制度反対の声が多数あったことを受け、特別徴収から口座振替を限定とした普通徴収に切り替えることができるようになりました。 納税貯蓄組合において、特別徴収された租税等は補助金の対象となりませんが、口座振替の普通徴収に切り替えた場合は補助金の対象としています。 特別徴収された租税等は、納税貯蓄組合を介さず納付されることとなりますので、納税貯蓄組合員以外の市民と区別して補助金を交付することは難しいと考えます。 納税貯蓄組合を取り巻く環境が一層厳しくなっている状況を踏まえ、今後も機会を捉え総会や役員会等へ積極的に出席し激励することとします。	A3	行財政基盤
128	5-3	綾織町	7月3日	62歳 女性	芝桜を見に来るお客さんが増えている。そこで、コミュニティー消防センターを利用して、お茶、ワラ草履、おにぎり等売りたいと考えているが、その場合に許可が必要か。また、どんなものまで売れるのか教えてほしい。	おにぎり、団子などを販売するにあたってのコミュニティー消防センター利用はあっても良いと思う。その際、物を売ることなので保健所の許可は必要と思う。		保安施設課 長寿福祉課	コミュニティー消防センターは、公用もしくは公共用に供するための施設であり、地区の住民が地域福祉の増進のために使用する施設です。自治会等が短期的に行う通行者等への物販行為のための使用については目的外の使用となりますが、コミュニティー消防センターの設置目的である地域の防災体制を脅かさない範囲での使用であれば可能です。実施に当たっては、地元消防団と協議のうえ、本来の設置目的を阻害することのないよう十分に留意してください。 なお、食品を加工し販売する場合は保健所の許可が必要となりますので、ご相談ください。	A3	公共施設活用

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
129	5-3	宮守町	7月13日	60歳 男性	鱒沢に地区センターを設置して欲しい。	合併時に「宮守は一つ」との話を受け、今の体制を整備している。ただし、時代も変わり条件も変わっている。コミュニティー、地域力の重要性が大事であり、過疎法もソフト重視へ変わろうとしている。例えば、地区センターのサブ機能について、議論してみたい。		地域生活課	合併に向けて、町名、地区センターのあり方や総合支所について議論した経緯があり、合併後4年が経過しようとしています。地域がまちづくりに果たす役割は重要ではありません。総合支所のあり方も含めて検討しなければならないと考えています。	C3	公共施設活用
130	5-3	松崎町	6月24日	68歳 男性	わんぱく広場の芝について、昨年までは定期的に草刈りがされていたが、今年はあまり管理されていない。機械を設備していただければ、あとは市民協働で行ってもよい。	施設管理サービスにパトロールの指示するように。	(市民センター所長) グラウンドゴルフ場の管理は、施設管理サービスに委託している。草刈りについて、施設管理サービスに連絡し、何日おきでやっているのかを確認し対処する。	地域生活課	遠野運動公園のわんぱく広場は、指定管理者である(株)遠野施設管理サービスに、一体的施設として管理及び運営を委託しています。施設内の芝管理は、定期的に芝刈りやパトロールを行っておりますが、利用者との協議に欠けておりました。 このようなことが無いよう指定管理者と管理や対応面の見直しを図り、ニーズに即した対応を行います。	A3	公共施設活用
131	5-3	遠野町	6月30日	58歳 女性	市民センター実習室の皿や鍋の設備が以前より充実してきている。しかし、ガスコンロは業務用で、一般家庭向けコンロに比べ非常に扱いづらい。また、40人以上の講習となるとマイク設備も必要。さらなる充実を望む。	少子化の中で児童生徒が減り、高齢化の中で福祉の施設のニーズも増えている。総合食育の中で、この2つをタイアップして、農業振興や安心安全な食材の供給ができないかと検討しているところ。食育を通じて、生活習慣病、母親の健康づくりの拠点に位置付けられないかなど考えている。例えば、老人クラブの方々も学校給食を味わう場もあればというも考えている。年代を問わず食を通じて、健康づくりコミュニケーションづくりに利用できないかと今、盛んに検討しているところ。	(教育長) 利用したときに不便なもの、足りない物などがあれば遠慮なく言っていただきたい。ガスコンロについても、検討させていただきたい。	地域生活課 都市計画課	市民センター実習室のガスコンロは、短時間にしきも大量に調理するケースにも対応できるよう営業用のガスコンロを設備しています。なお、初めて使用する方等のために設備手元にシールで取扱い説明を表示しているところですが、なお、初心者等が使用する場合には、更に取扱いの説明をするなど対応していきます。 また、講習時のマイク設備については、すでに講義室に音響設備がありますので、使用の際は申込願います。 なお、平成22年度から建設予定の遠野市総合食育センターへも、調理実習施設を整備する予定ですので、意見・要望等がありましたらお寄せいただきたいと思います。	A3	公共施設活用
132	5-3	小友町	7月2日	73歳 男性	長野地区で整備した芝生にナイター照明を付けてほしい。		(市民センター所長) 地区センターを通じて話を詳しく伺ってから検討する。	地域生活課	長野親交会が旧長野小学校跡地を利用して整備したグラウンドゴルフ場についての今回の希望は、地区センターから情報提供を受けています。これまでの取組経緯や整備目的から、みんなで築くふるさと遠野推進事業での対応が考えられるので、地区センターを通じてご相談願います。	C2	公共施設活用
133	5-3	宮守町	7月13日	64歳 男性	銀河の森に屋根付の多目的広場がある。お年寄りなどがゲートボールで利用する際、無料にできないか。	銀河の森の屋根付の多目的広場の屋根の補修について、補正予算で措置したところ。管理は、施設管理サービスで行っている。	(教育長) 他の公共施設でも使用料を支払っていただいております。全体のバランスをとる必要がある。2年前に使用料の統一化を図ったところではあるが、改めて検討してみる。	地域生活課	行政改革、健全財政5カ年計画に基づき、平成19年度において使用料等の見直しを図り、不公平感のないような料金体系のもと体育施設や文化施設の利用者の皆様からご負担いただいております。今後も安心して使用いただけるような施設整備を実施するため、当該施設につきましても他の施設同様に負担していただくことでご理解願います。	D	公共施設活用

「平成21年度市長と語るう会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
134	5-3 宮守町	7月13日	60歳	男性	情報ビジネス校が、今年度いっぱい廃校となる。この跡地利用をどう考えているのか。	跡地利用については、市で検討委員会などを立ち上げ議論するべきと思うが、今はまだ生徒さんも学校におり、配慮しなければならない。時期を見計らって検討したい。	(教育長) 岩手県教育委員会の教育長とも、情報ビジネス校の跡地利用については、話をしている。県教育委員会から、具体的な活用方策はまだ示されていない。地域の要望、声については、県教委に伝えていく。ただし、今在学している生徒さんへも配慮しながら、タイミングを見て県教育委員会へ伝えたい。 なお、ブロック懇談会でも県に対して活用策の検討を強くお願いしている。	教務課	情報ビジネス校の跡地利用については、跡地利用を検討する組織を設置し、県の活用方針、地域の要望を確認しながら、地域の活性化に結びつく方向を探っていきたいと考えています。	C1	跡地利用
135	5-3 綾織町	7月3日	61歳	女性	保健所が花巻市、さらに水沢市に行くとなると。書類の不備等何か間違いがあった際には、花巻までいかなければならない。どちらにしろ遠野から行くのはきつい。事務代行などはできないか。	広域振興局、権限移譲の問題等、県からはっきりとした返事がないが、しっかり対応していきたい。 岩手県内どこに行っても同じ様式で受け付けることができるような体制が必要と思う。新型インフルエンザでも近い釜石ではなく花巻から来てもらうことになる状況。権限移譲の問題を含め、整理しなければならない。	(経営企画室長) 県の都合で縮小されるのは仕方ないが、市民の方々が不利益をこうむらないように県から権限移譲を受けている。これは宮古市と同程度に進めており、保健所に係わる事務も今年度以前から福祉の里で対応できるようになっている。福祉の里や市役所でできる事務についてPR不足もあったので、今後PRに努めていく。今後も権限移譲に取り組んでいきたい。	経営企画室	食品衛生法に基づく営業許可は、市への権限事務移譲の対象外となっています。保健所への営業許可申請書等については、遠野行政センターが窓口になっていますのでご利用ください。 なお、遠野行政センターが閉鎖される平成22年度以降の対応については県と協議中であり、事務の代行も含め検討します。	A3	振興局再編
136	5-3 綾織町	7月3日	61歳	女性	遠野市としてのイベントでない風の丘で屋台の出店ができなくなっている。単独ではできなくなっており、これまで土日に許可をもらって出店していた人も来なくなっている。またテントで売れるものも限られている。一箇所変更するだけでも花巻まで許可を取り行かなくてはならない。		(経営企画室長) 市の主催として風の丘も取り組むということであれば、テントの出店を認めるがそれ以外は認めない旨の指導が保健所からあったのは確か。 審査は別として届出の方は福祉の里が窓口になれるか検討する。	経営企画室	反復継続して営業するような場合は、公衆衛生上の見地から通常の営業許可が必要である旨の指導をされているのでご理解願います。 保健所への営業許可申請書等については、遠野行政センターが窓口になっていますのでご利用ください。	A3	振興局再編
137	5-3 宮守町	7月13日	63歳	男性	市の行政組織が複雑で、庁舎も分散している。市の広報で人事異動の内容が示されているが、住民からすれば、市役所への用足しが、どこに行けばいいのかわからない。 担当業務によって、市役所のどこに行けばいいかわかるように、位置と場所を広報で周知していただきたい。	健康福祉の里、市民センターも一定の機能を果たしている。行政センターに環境整備部も入った。新市になってから「総合庁舎をいつ建てるのか？」と聞かれることもあったが、財政事情を考えると難しく、分散化せざるを得ない。職員にはネットワークがあるものの、市民には不便との話もあり、広報での周知を図ってほしい。 なお、周知のあり方や総合窓口の設置まで含めて、議論していきたい。		総務課 管理情報課	組織のスリム化等を目的に行政組織の見直しを進め、平成21年度から新たな体制としました。 庁舎の分散体制については、行政センターに環境整備部を新設したこと等もあり、一部に周知が不足していた面も否めないことから、それぞれの庁舎の担当業務、位置、場所等を分かりやすく示した略図を作成し、広報、遠野テレビ等を通じて、市民に周知を図っていきます。 また、各庁舎に備付の案内板もわかりやすい掲示をするなど工夫に努めます。	B3	市民サービス

「平成21年度市長と語る会」発言要旨及び回答（大綱別）

大綱区分	地区名	開催日	発言者		意見・提言等の内容	市長コメント	部長等コメント	担当部課	担当課の意見・回答等	対応区分	項目
			年齢	性別							
138	5-3	附馬牛町	6月26日	69歳 男性	<p>農協支所があったので、附馬牛でも税金を払うことができた。支所が無くなったので市役所まで公金を払いに行かなければならない状態にある。郵便局に行くと払えるものと払えないものがあるので、郵便局で公金を全部扱えるようにしてもらいたい。</p>	<p>現在農協の金融窓口は上郷支所、松崎支所、宮守支所しか行っていない。突然の合併となり我々も困惑した。金融機関が無くなるとあって色々議論したが、JA遠野も合併は止むなしといった状況であった。こういった中で地元郵便局の役割は大きくなっている。小友郵便局では印鑑証明の発行等はしているが、利用率が伸びない。交付事務の費用もかかる。しかしそのような機能があったことを知らなかったという方が多かった。郵便局との連携がこれからの課題。郵便局の撤退とはならないように努める。</p>		会計課	<p>公金の収納取扱場所は各金融機関及びびあサービスコーナー、会計課で取扱っています。現在、各町には民営化された「ゆうちょ銀行」があることから取扱うことが出来るように協議を重ねていますが、システムの違いなどから、窓口での現金納付は出来ない状況です。ゆうちょ銀行の預金口座からの口座振替納付は平成19年10月1日から実施しています。また、市からゆうちょ銀行の預金口座への振込については、H21年1月から可能となっています。今後とも、現金納付が可能になるよう協議を重ねていきます。</p>	A3	市民サービス